る範圍に亙りて之を取扱ひたりしも、其後の財界不況に因り不動產に關する權利確保の手段に付種々の難問題を生じたるため、現在は不動產擔保貸出を取扱ふものなく、何れも商品擔保若くは信用貸付にて、株式公債等の存在せざる當地には有價證券擔保貸出も殆どない。國際運輸金融部は其本業たる運輸業、倉庫業を利用し、滿鐵會社との特殊關係を背景として金融上にも盛に活動し、輸出商に對する輸出手形の買取り、輸出業者、輸入業者に對する擔保貸、信用貸にも亙り、營業の範圍は哈爾濱及東支沿線各地に涉つて居る。

第二　外國銀行

現在哈爾濱に於ける外國銀行は左の如くである。

	設立年	本店所在地	資本金(千單位)	在滿支店所在地及備考
花旗銀行 National City Bank of New York	一八一二年	紐育	拂込一一一、〇〇〇米弗	大連、奉天、開原、哈爾濱(一九二三)
香上銀行 Hongkong and Shanghai Banking Corporation	一八六五年	香港	拂込二〇、〇〇〇、〇〇〇香弗	大連、奉天、哈爾濱(一九二三)
喳打銀行 Chartered Bank of India, Australia and China	一八五三年	倫敦	拂込三、〇〇〇磅	哈爾濱(一九二八)
極東銀行	一九二三年	哈爾濱	拂込五、〇〇〇、〇〇〇円	滿洲里、海拉爾(上海、天津、張家口)
法亞銀行	一九二八年	哈爾濱	一、〇〇〇円	奉天
極東猶太商業銀行	一九二一年	哈爾濱	四〇〇円	
猶太庶民銀行	一九二三年	哈爾濱	一〇〇円	
極東借款銀行	一九一〇年	哈爾濱	一六九円	(相互信用組合)
中華懋業銀行	一九一七年	北平	拂込一〇、〇〇〇元	(閉業整理中)

哈爾濱に於ける外國銀行は對英、對米等の外國爲替、銀爲替又は日本向爲替の如き爲替業務を以て主要業務となすも、花旗、香上、極東銀行の如きは相當大規模なる當所貸出を行ふ。法亞銀行は寧ろ當所貸出を主たる目的とするも、創業日尙淺く其活動は未だ著しくない。外國銀行の營業方法は概して大膽、寬大且敏捷にして、金利の如きも臨機應變である。豐富なる資金を擁し大規模の爲替を取扱ひ得ると共に、思ひ切りたる貸出をもなすを以て、哈爾濱市場に於ける勢力は實に侮るべからざるものがある。

花旗銀行　本銀行の哈市に於ける活動は、米國の對滿貿易助長を主たる使命となせるものゝ如く、「シリーロ」商會を通じて米國品の北滿輸入に特に力を注ぎ、其他華商に對しても特產擔保、飛子貸、信用貸を行ひ、支那側銀行、錢舖との爲替賣買取引も盛大である。

香上銀行　本銀行は貸出に於ては當地輸出商の巨頭たる寶隆洋行（ワツサルド）を殆ど唯一の相手とせる觀ありて、一般華商との取引はなきが如きも、貨幣の賣買爲替に關しては華商を相手として取引をなし、輸出入爲替業務に活動して居る。

極東銀行　本銀行は一般銀行業務を營むも、勞農露國の機關銀行として多數の勞農露國の經濟機關及商工業者に對し特殊の便宜を供與し、之を支持して居る。殊に東支鐵道の機關銀行として資金運用上の便宜尠からざるため、華商に對しても油坊、雜貨商等を得意先として活動して居る。

法亞銀行　本銀行は佛國系銀行にして或意味に於ては舊露亞銀行の復活とも見るべきものなるが、勿論資本系統は全然別個である。昭和四年の開設に係り本店を哈爾濱に置く。雜貨商其他に對し數十萬圓の貸出をなしたるも、忽ち露支時局に遭遇して回收方針を採り、十萬圓位に低下した。其後活動の見るべきものなく今日に及んで居る。

第三　新式支那銀行

（イ）發券銀行

當地に於ける發券銀行とは哈大洋票を發行する銀行の稱にして、何れも官憲の設立に係るものである。紙幣發行の外一般銀行業務を營むも、彼等の多くは紙幣發行の特權を濫用して盛に特產買占を行ひ、就中東三省官銀號、邊業銀行（以上奉天系）及廣信公司（黑龍系）に於て特に甚しい。其の特產買占たるや大規模にして獨占的なるを以て、自由に市價を操縱し一般市場の正常取引を攪亂するの害あるも、彼等自身の爲には年々巨利を博して居る。其他各種の事業を兼營し此等に對する資金供給は貸出の大部分を占め、一般に對する貸出は却て大に減縮せられて居る。然しながら何れも地場特權銀行なるを以て依然傳家甸金融界の中堅をなし、其の擔保貸に於ても外國人たる日本側、外國側銀行と立場を異にせるため、不動產、株券其他の有價證券類、商品等有らゆるものに對し貸出を爲すのみならず、信用貸の金額も亦多額に及んで居る。

東三省官銀號　奉天系の銀行にして特產買占めの爲に大洋票を增發すること巨額である。貸出は各般の方面に亙れるも、情實貸と官商系に對する貸出を除けば一般貸出は割合に少かるべく、貸出方法は總て支那式なること勿論であつて、貸出に際し保證人を立てしむることは同行のみならず、支那金融業者全般に行はるゝ所である。

邊業銀行　奉天系の銀行にして自ら特產買占をなす。一般業務の取扱振りは東三省官銀號と略相似たれども、唯奥地に出動して沿線邊境の商人を得意先とすることが多い。

黑龍江省官銀號　黑龍江省系の銀行にして一般貸出は極めて尠く、聯合各商店に資金を給し特產買占をなす外、油坊、火磨、燒鍋等を經營せしめて居る。一般市場に對しては送金、兌換、貨幣賣買等

を營むで居る。

中國銀行　特產買占には殆ど關係なく、廣く粮棧、火磨、油坊、雜貨商等を得意先とし、營業振りは着實にして他行に比し貸出高少い。

交通銀行　當地及奥地の油房を通じて特產買占をなすも、其他一般の營業振りは略中國銀行に似て居る。

（ロ）其他新式銀行

當地に於ける新式銀行は玆に本店を有するもの其數極めて少く、且つ內容も充實せず、金融界に於て活動せるは概ね他地に本店を有するもの、支店にして、錢舖との間其業務上の區別明確ならざる點あるも、市場に於ける活動振りに於て自から趣の異るものがある。是等銀行の取引先は概して錢舖の取引先よりも大なる商人なれども、有力なる錢舖には一流商人の取引先あるを以て一概には斷じ難い。貸出の金利は日步換算三錢五厘以上五錢位のものあり、金圓の貸出、現銀の貸出等あるも概ね哈大洋勘定である。

永衡官銀錢號　吉林省の中央銀行にして永衡大洋、吉林官帖の發行權を有するも、哈大洋票の發行權はない。哈大洋票勘定及永衡大洋票勘定の貸出をなし、最近は活動振り盛大となり、大洋四百萬元以上の貸出殘高を有するとのことである。

益發銀行支店　長春益發銀行の支店である。貸出業務は相當盛大にして一流商店をも得意先とし、信用貸を主として貸出利率は日步四錢乃至五錢、大洋五錢乃至六錢以上の如くである。金圓貸出、大洋貸出あり、粮棧、火磨、油坊、雜貨商、錢舖等の各方面に涉る商人を得意先とし、其取扱振り極めて簡便且長期の要求に應ずるを以て、同行を利用するもの多く相當勢力がある。

長春益通商業銀行　本店を長春に有し、當地支店は昭和四年の開設に係り、二、三流雜貨商の金融を掌る。開業以來日淺く未だ活動充分ならざるも、營業振り敏活にして前途を囑望されてゐる。

南海實業股份有限公司　輸入業を目的として設立せられたるものなるが、同時に金融業をも營み、當地にては特產賣買（主として飛子に依る賣買）をなし、貸出業務は餘り盛ならず、其殘高僅々五十萬元位と云はれて居る。

奉天儲蓄會　奉天要人の出資に係り曾て當地金融界に於て目覺しき活動をなしたるも、不動產貸に多額の固定を生じ擔保を背負ひ込みたるもの約百件に及んだ。其後不動產の値上りに依り巨利を擧げて、今や金融業より手を引き不動產の經營に主力を注いで居る。

左に在哈爾濱主要支那銀行一覽表を掲げる。

在哈爾濱支那銀行

	設立年月	資本金	本店所在地	滿洲に於ける支店出張所
本店銀行				
濱江大同銀行	一九二九年四月	哈洋△一、〇〇〇、〇〇〇元	哈爾濱	
濱江儲蓄銀行	一九二一年六月	大洋△五〇〇、〇〇〇元	哈爾濱	
支店銀行				
東三省官銀號	一九〇五年十二月	奉大洋△三〇、〇〇〇、〇〇〇元	奉天	營口、開原、公主嶺、四平街、新民、海龍、遼陽、遼源、錦縣、安東、范家屯、吉林、長春、延吉、哈爾濱、黑河、齊々哈爾、海拉爾、安達、洮南、雙城、呼蘭、綏化、寧安
吉林永衡官銀錢號	一九〇九年十一月	大洋△一〇、〇〇〇、〇〇〇元	吉林	長春、哈爾濱、雙城、扶餘、五常、寧安、樺川、延吉、琿春、賓縣、依蘭(三姓)密山、營口、其他
黑龍江省廣信公司	一九〇四年八月	二、〇〇〇、〇〇〇兩	齊々哈爾	哈爾濱、奉天、營口、呼蘭、海倫、綏化、巴彥、黑河、庫瑪渠阿、安達、湯原、海拉爾、滿洲里、室韋、克山、道河、望奎、拜泉
邊業銀行	一九二五年六月	大洋△一、五〇〇、〇〇〇元		
中國銀行	一九〇五年	大洋△二〇、〇〇〇、〇〇〇元	奉天	哈爾濱、長春、營口、開原、四平街、吉林、黑龍江
交通銀行	一九〇七年	大洋△七、五〇〇、〇〇〇元	上海	大連、奉天、哈爾濱、長春、其他滿洲各地
世合公銀行	一九二四年七月	大洋△二四、七一〇、〇〇〇元	上海	同上
益通商業銀行	一九一九年四月	大洋△一〇、〇〇〇、〇〇〇元	奉天	奉天、哈爾濱
遼寧商業銀行	一九一四年五月	大洋△八、七一五、一五〇元	長春	哈爾濱
		大洋△一、〇〇〇、〇〇〇元	奉天	哈爾濱、洮南、安達、遼源
		大洋△七五〇、〇〇〇元		
		大洋△一、〇〇〇、〇〇〇元		
		大洋△二五〇、〇〇〇元		
		大洋△一、〇〇〇、〇〇〇元		
		大洋△八七五、〇〇〇		
遼寧滙華銀行	一九二六年八月	大洋△一、〇〇〇、〇〇〇元	奉天	哈爾濱
益發銀行	一九二六年十月	大洋△六三〇、〇〇〇	長春	哈爾濱
大中銀行	一九二九年	大洋△三〇〇、〇〇〇元	天津	哈爾濱
		大洋△四、〇〇〇、〇〇〇元		
		大洋△一、六〇〇、〇〇〇		

註　資本金中△は拂込資本金、其他は公稱資本金、哈洋は哈大洋、大洋は大洋錢

第四　錢莊

錢莊は元來爲替及貨幣賣買を主たる業務となすものであるが、信用確實なるものに至りては預金貸出をも取扱ひ、貸出方法は支那の舊式にて保證人に依る信用貸である。小口貸出多く金利も比較的高い。當地に於て最も有力なるものは功成玉にして、本店を吉林に有し、上海、大連等主要地に支店あり、規模大にして貸出にも大口ありと云はれて居る。寶隆峻、寶隆銀號等は之に次ぎ何れも爲替、貸出に活動し、尙之と優劣なき程度のものが多數ある。何れも比較的下級の金融を掌り、當地支那商人の金融機關として其の實勢力を握つてゐる。

第四項　金融爲替事情

第一　一般金融

近年北滿洲開發の著しき進歩に伴ひ、大豆、小麥を大宗とする農產物の北滿輸出能力は跳躍的に增

進し、遙かに南滿を凌駕するに至つた。哈爾濱傳家甸は實に北滿特產市場の中心地にして對歐大豆輸出を始め、豆粕、豆油等の輸出も頗る旺盛である。從て當地の金融は特產出廻期に於て最も繁忙を呈し、近年氣溫の變化、鐵道の新設其他交通機關の發達に伴ふ搬出方法及經路の變化、竝に特產相場の不味等を原因として、其出廻り概して始期早く終期遲く稍亂調子の傾向あるも、大體に於て例年結氷期即ち十一月頃を期して一齊に出廻りを開始し、翌年二月頃迄を最盛期となし、爾後五、六月頃迄墮勢的の出廻ありて、七月より十月の間は出廻激減し、閑散となるを常とする。故に輸出入貿易を始め各種の工業其他特產を基調として動く經濟金融界の事象は、皆此の季節的周期に從ひ繁閑の度を繰返すを原則とし、農產物の豐凶及其の出廻狀態竝に貿易の繁閑は、當地金融を左右する根本原因である。此他季節的に納稅期、市中決算期等に於て資金の需要を喚起し、金融繁忙を告ぐること各地と一般なるも、哈爾濱に於ては日、露、支等の各國人割據せるため、例へば露國人は春季復活祭と年末、支那人は端午節句、仲秋節、舊正月を以て決算期となすが如く、區々にして一般共通の決算期なきため、金融逼迫の程度も此の關係に於ては他地の如く甚しくはない。

以上季節的關係の外銀行又は錢莊の破綻、恐慌其他例へば昭和四年に起りたる露支紛爭の如き、此等突發的事件の發生に際しては、各銀行は資金の回收、手許の充實に急なるため金融梗塞し、金利騰貴すること屢々あるは勿論である。

第二　內外爲替

毎年秋冬の交特產物の出廻期に入るや、之が取引旺盛にして、此時期に於て輸出入貿易亦繁盛を呈し、買出資金の關係にて官帖、大洋票、金票等各種貨幣の賣買竝に各地向迄金、其他爲替取引が盛に行はれる。

當地には貨幣取引所としては傳家甸に濱江貨幣交易所あり、毎日各種貨幣の取引をなし相場建てらるゝも、哈大洋市價維持の爲め支那官憲に於て取引機能に大なる制限を加へ、總て先物取引を禁止し、必要なる場合官憲筋自ら出動して人爲的相場を建つることさへあつた。其結果同交易所は自然一般商民より顧みられざるに至り、現在に於ては各種貨幣の取引は現物先物共總て市中（取引所外）にて各人自由に相對賣買の形を以て行はれて居る。

外國爲替は日本側及諸外國銀行の外支那銀行及錢莊に於て取扱はるゝが、外國銀行中花旗銀行は輸出入關係資金を主とし、香上銀行は「ワッサルド」、「ドレーフス」を始め對歐輸出資金及各地向爲替に盛に活動し、極東銀行は東支鐵道資金竝に輸出入資金等相當多額に上り、主として錢莊及銀行を通じて賣買をなし、喳打銀行は佛商「ドレーフス」との取引を主として居る。又支那側銀行に在りては昭和二年東三省、廣信、邊業、中國及交通の五銀行共同機關として滙兌所なるものを東三省、中國及

交通銀行内に設け、金票と大洋の交換賣買をなす外、外貨(主として金圓)の送金取扱を開始せしも、市場を無視せるため一般商民の利用する所とならず、現今は銀行公會内にありて主として爲替を行つて居る。錢莊は本來爲替及貨幣賣買を主要業務となし、其有力なものに至りては各地に連絡を有し奥地向送金は勿論、上海、漢口、天津、青島、濟南、大連、齊々哈爾等各地向爲替取組に應じ業務盛大である。殊に北滿の移住民、出稼人等の山東、直隷方面に對する送金は一度哈爾濱に集中せられ、更に此地より各方面に送達さるゝため、錢莊の各地向送金取扱は毎年巨額に達して居る。

大連向爲替相場は鈔票對吉林官帖及哈大洋對吉林官帖相場と、大連鈔票相場との裁定により算出せられ、上海向相場は大連向爲替相場と大連の滙中相場の裁定により算出せらるゝを普通とする。

哈爾濱市場の爲替賣買は實需取引の外、哈大洋を中心として支那各地向殊に長春、大連、上海、天津との間に鞘取取引も盛に行はれて居る。尤も近年支那側官憲が哈大洋及官帖の暴落對策として爲替相場に頻々干渉するため、鞘取賣買の機會は著しく減殺されたる模樣にして、殊に一時旺盛なりし哈爾濱奉天間の取引は奉天票の極端なる暴落のため中絶の狀態である。斯く哈大洋を中心として鞘取賣買の行はるゝは、哈大洋の騰落が一般銀價の大勢に追從するは勿論なるも、左の如き理由により特に地方的なる變動をなすこと多きに因るものである。即ち

（イ）哈大洋票は事實上の不換紙幣にして、實質的金屬價値を有せず平價算出の基礎なきを以て、人氣作用による騰落激しき傾向がある。

（ロ）哈大洋發行銀行の背景をなすものは多く東三省の所謂巨頭連である。從て東三省勢力の消長は勿論、其の消長に影響あるべき支那内外の微妙なる政局の推移、時局の變轉等は鋭敏に哈大洋相場に反映する。

（ハ）哈大洋は北滿に於ける代表的通貨たる地位を有するを以て、季節的需給關係其の他地方的經濟事情に支配さるゝこと頗る多く、即ち冬期特産出廻期に於ては銀資の需要を喚び活況を呈し、舊正、節句決濟期にありては輸入代金支拂のため、大連、上海、天津向等の送金增加するが如き是れである。

斯くて兩地間爲替の値開きを生じたる場合、巧に一方に賣り他方に買ひ、機宜に活躍し差益を收得するを目的とするものあり、其の主なるものは長春幇と稱せらるゝ當地錢莊中の最有力者である。彼等は上海、天津、大連、長春、其他各地と密接なる連絡を保ち、直通電話其他の機關を利用して最も迅速に各地の情報を集め、相場の變動を利用して鞘取賣買を行ひ、恒聚棧、益發粮棧、功成玉、敦昌

號、寶隆峻、廣信升、們大號、豐泰號等は其の巨頭である。銀行筋にては各官銀號は主なるものであるが、天津及上海との鞘取取引には香上、花旗、極東等の外國銀行も出動して居る。

第三節　營口

第一項　概說

營口は遼河河口を遡ること十四哩の左岸に位し、人口十一萬人（內邦人二千六百人）を擁せる河港市にして、一八五八年の天津條約に依り牛莊外四港の開港實施に當り、河深淺き牛莊を放棄し營口を以て條約上の開港市として開放せられたものである。遼河は其の源を東蒙に發し滿蒙の沃野を貫流して渤海に入る。市の對岸河北驛を末端とする北寧鐵路營口支線は溝幫子を經て、天津、北平に通じ、又滿鐵營口支線により大石橋に於て滿鐵本線に合し、南は大連、北は長春に通じ、水陸共に交通に便なる要港である。港內頗る水深く、如何なる大船と雖も碇泊し得るも、河口に淺瀨あるため滿潮時に於ても十八呎の船舶を通ずるに困難を感じ、且毎年十一月下旬より三月下旬に至る迄、河水氷結して船舶の出入不可能となることは、大に港灣の價値を減殺し營口の發展を阻碍する大原因をなしてゐる。然れども營口の貿易額は逐年增加し、殊に昭和五年及六年に於ては一億海關兩を突破するに至つた。

（單位千海關兩）

營口	昭和二年	輸移入額	四九、〇三六
		輸移出額	三三、一八一
		合計	八二、二一八

昭和三年	四八、六四九	三五、六八五
〃四年	五二、二六九	三四、二九五
〃五年	五七、七七九	四六、一三五
〃六年	三〇、七八四	九四、二五〇

本港の貿易は昭和六年度は例外として毎年輸移入超過にして、且沿岸貿易に優勢を示し、總貿易額中支那沿岸貿易七割に對し、外國貿易は三割を占むる割合であつた。昭和五年及六年に於て營口貿易の激增したるは、滿鐵の石炭棧橋完成後、所謂石炭近海輸出八十萬噸計畫の下に、石炭の輸出增加したると其他種々の原因あるべきも、其最も主なるものは最近北寧線が東北東四路(北寧、瀋海、吉海、吉敦線)及東北西四路(北寧、四洮、洮昂、齊克線)の聯絡鐵道を完成し、滿鐵線に對し營口を中心として貨物の吸收策を講じ、鐵道運賃の低減を斷行し、折柄の銀安を加へて滿鐵線に對し頗る低廉なる運賃となりたる結果、營口に對する特產其他貨物の出廻激增したるに原因するものである。支那鐵道は輸送貨物の呑吐港を營口、葫蘆島及秦皇島に求めんとするものなるが、葫蘆島築港は未だ其完成を見る迄には長時日を要し、秦皇島は石炭輸出に全能力を傾注し居る狀態なるを以て、營口を中心として滿鐵の大連に對抗せんとし、營口河北驛に棧橋を築造し、市街計畫を行ひ、將來河南(營口現市街地を云ふ)の商勢を奪はんと企圖してゐたのである。

主要輸出品は大豆、豆粕、豆油、高粱、石炭等にして仕向國別にすれば

(單位米噸)

		昭和四年	昭和五年	昭和六年
日本	大豆	一〇、六五〇	一九、八六六	一二六、七四四
	豆粕	九九、七七七	三四、二六八	八〇、三三五
	豆油	—	—	—
支那	大豆	六二、七八一	一五〇、二六一	三一三、六八七
	豆粕	一一一、一九〇	一〇〇、一六五	二四五、二七一
	豆油	九、〇三三	六、八六七	二二、二四九
其他諸國	大豆	四、三二九	五、八三七	八、〇〇〇
	豆粕	三六	—	—
	豆油	—	四五	二二
合計	大豆	七七、七六〇	一七五、九六四	四四八、四三一
	豆粕	二一一、〇〇三	一三四、四三三	三二五、六〇八
	豆油	九、〇三三	六、九一二	二二、二七二

輸入品は綿絲布を最重要とし其他、麥粉、食料品、石油等にして、大部分は支那各港より輸入せら

るゝものである。昭和五年度に就て見るも、外國よりの輸入一六、三四〇千海關兩に對し、沿岸貿易に依る輸入は四一、四三八千海關兩を示して居た。

營口の油房は往年滿洲に於て最も發達し南滿油房業の中心をなせしが、大連に於ける油房工業の顯著なる發達と共に年と共に衰退し、邦人經營工場は大正十三年を最後として全部閉鎖せられ、支那人工場は一時二十三工場を算したるもの昭和五年末に至り十八工場に減少した。然るに昭和六年に入るや原料大豆安に加へ、支那鐵道の運賃引下及銀建による運賃安により、河北驛に出廻る大豆は日々に增加し、油房の採算有利となり、南支向及日本內地に對する輸出旺盛となりしため、各油房は數年來稀に見る活況を呈し、豆粕製造高は昭和五年上半期の一、四三五、五七〇枚に對し、昭和六年上半期には四、四九二、四五六枚に激增するに至つた。

第二項　營口の通貨

現在營口に流通せる主要通貨は、大洋錢、現大洋票及外國貨幣たる朝鮮銀行金票、正金銀行鈔票にして、奉天票は大洋錢又は現大洋票に對し補助貨の如き性質のものとなり、漸次其勢力を失ひ減少しつゝある。各通貨は用途を異にし其間每日相場の建てらるゝこと、他の滿洲各地に於けると異る所はない。尙ほ營口には營口特有の過爐銀なる制度ありて、過爐銀支票と稱する小切手が使用されて居る。

第一　大洋錢及銅錢

大洋錢は袁世凱弗、孫文弗及舊銀元たる龍洋の三種あるも、龍洋は現在其の量少く袁世凱弗が最も多い。大洋錢の流通額は季節により相違あり、大體二十萬乃至三十萬元と推定せらるゝが一般日常取引に使用するものは少額にして、主たるものは關稅鹽稅の支拂、秋季人蔘取引の決濟及山東苦力の需要（結氷直前に起る）、其他市中錢莊の賣買の目的物となる等である。但し山東苦力の需要は近年減退の域にあり、之れ從來の出稼苦力が漸次滿洲殊に北滿に移住するに至れるがためである。

銅錢は二錢、一錢、五厘の三種あるも、現在にては唯少額の二錢銅貨が通用せるに過ぎない。奉天公濟平市錢號發行の銅元票と合せ三〇、〇〇〇元程度のものである。尙ほ、五角、二角、一角及半角の小洋錢は往年流通せしも、現在は殆ど其姿を見ず、制錢に至りては全く其跡を絕つて居る。

第二　現大洋票

現大洋票は奉天票の暴落甚しく漸く貨幣としての機能を喪失するに及び、之に代り發行せられたるものにして、營口に於ては從來奉票にて受授されたるものは多く大洋建となり、大洋（大洋錢及現大洋票）は支那鐵道運賃、納稅、郵便關係、雜穀類（大豆を除く）の日本向輸出及石油、麥粉等の歐米輸入品取引、其他萬般の日常取引に使用されて居る。然し日常取引に於ける實際支拂は奉票に換算して

爲すものも尠くない。流通高は約六十萬元と推定せられる。

第三　奉天票

奉天票は省當局の威力の下に强制通用させられて居た不換紙幣にして、發行額は昭和四年末に於て三十億元と推定されたが、屢々濫發されたるため慘落を來たし一時金票百圓に對し一一、三二〇元（昭和五年七月二十三日）を唱へたことがある。現大洋票の出現に依りて漸次流通力は減退し、營口に於ける最近流通額は三百五十萬元と推定され居るも、其の價値の暴落のため額に於ては激減を來した。營口の通貨は今や次第に大洋錢及大洋票に移り、奉天票は支那人間の小口取引及遼河結氷の際附近より馬車にて出廻る特產物（馬車物）が奉天票建なる外、投機の具に使用さるゝに過ぎない有樣である。

第四　過爐銀支票（小切手）

過爐銀は營平銀を基礎とする銀爐の振替制度にして、其當初にありては決算期に至り銀爐より元寶銀を受取り帳尻決濟せしものなるが、其後幾多の變遷を經て硬貨たる爐銀（元寶銀）は全然姿を消し、單なる抽象的銀兩と化した。今日に於ても大豆（馬車物を除く）、豆粕、豆油、綿絲布、雜貨等の取引は大部分過爐銀建にて行はるゝ外、貨幣の賣買、上海爲替の取組に利用されて居る。銀爐に於ける振替制度は近年に至り、三聯支票と稱する小切手使用により行はるゝことゝなつた。支票の有效期間は二日間とし、裏書なくして讓渡することを得べく、受取人は之を以て銀爐に於ける自己の口座に振込み、又は第三者に對する取引勘定を決濟することを得べく、又銀爐相互間に於ても交互計算法により甲銀爐に對する支票は之を以て乙銀爐に振込むことを得るのである。然しながら過爐銀の制度は次第に衰退の狀顯著なるものあること縷說の如くである。

第五　金票及鈔票

金票は日本銀行兌換券の稀に見受けらるゝことあるも殆ど朝鮮銀行券にして、邦人間の取引及日本よりの輸入品の邦商對華商取引に使用せられ、正金銀行鈔票は主として爲替資金及特產物買入資金の外、關稅支拂に使用せらるゝものにして、流通高は金票五十萬圓、鈔票四十萬圓見當である。

第六　貨幣相場

營口には貨幣取引機關として取引所の設置なく、錢莊等商務總會に集會して相場を決定せるが、單に目安相場にして實際の貨幣取引は相對賣買により行はるゝものである。過爐銀は前に述べたる如く何等實質的貨幣を有せざるも、大豆類、豆粕竝に綿絲布の大口取引は過爐銀を以て建値とされる。而して過爐銀決濟貨幣が大洋銀となりたる現在に於ては、過爐銀の相場は全く大洋騰落の材料により支配せられ、最近世界的銀價暴落のため金に對し大なる下落を示して居る。

今當地に於て毎日建ちつゝある相場を示せば左の通りである。（昭和六年八月三日現在）

金票對奉票—金票百圓に對し奉票	一四、二五〇元
金票對過爐銀—金票百圓に對し過爐銀	四七六兩
鈔票對過爐銀—鈔票百圓に對し過爐銀	二一二・七〇兩
鈔票對金票—鈔票百圓に對し金票	四四・八〇圓
現大洋對金票　現大洋百元に對し金票	四四・三〇圓
現大洋對過爐銀—現大洋百元に對し過爐銀	二一〇・七〇兩
現大洋對奉票—現大洋百元に對し奉票	六、三一〇元
過爐銀對奉票—過爐銀一錠（五十三兩五匁）に對し奉票	一、六〇五元
上海會水—上海兩一〇〇兩に對し過爐銀	二、九六七兩

第三項　金融機關の現狀

第一　日本側銀行

現在營口に於ける外國銀行は橫濱正金銀行支店、朝鮮銀行支店、正隆銀行支店、振興銀行等の日本側銀行のみにして外國銀行はない。

正金銀行牛莊支店は明治三十三年一月の開設に係り、滿洲に於ける邦人經營銀行の嚆矢である。次で明治三十九年日支合辦の正隆銀行此地に設立せられしが、四十四年增資すると共に本店を大連に移し、此所に支店を置き、其後大正五年に至り朝鮮銀行支店の設置を見るに至つた。振興銀行は大正七年六月資本金十萬圓を以て振興株式會社として開業したるものなるが、後、百萬圓に增資して振興銀行と改稱した。大正十四年、營口銀行（大正八年五月設立資本金三十萬圓）を合併して資本金百十七萬五千圓となりたるが、業績不振を傳へられてゐる。各銀行の預金、貸出高は左の如くである。（昭和六年末現在）

	預金	貸出
朝鮮銀行	四五五、六三五円	一九〇、三三五円
橫濱正金銀行	二四〇、四三九	三七、三二一
正隆銀行	二八二、五六五	三二七、七〇〇
振興銀行	七三〇、一三〇	八一七、三七六
合計 金	一一、〇〇〇	—
合計 金	八一、九九九	一、九二八、一二八
合計 銀	一、五〇八、二〇三	二、九七三、一六〇
合計 銀	二九三、五七七	三二七、七〇〇

第二　新式支那銀行

營口には特有の過爐銀制度の發達を見たるに換へて、新式銀行の設立せられしもの尠く、從前牛莊銀行と稱するものありしが、現在にては左の四銀行支店の外、福申銀號と稱する日支合辦の地方銀行あるのみである。

	本店所在地	營口支店設立年月
中國銀行	上海	明治四一年
交通銀行	上海	明治四二年
邊業銀行	奉天	昭和四年八月
東三省官銀號	奉天	明治四十三年と稱せらるゝも其後引上大正十二、三年頃再び開設
福申銀號	營口	大正九年四月、資本金十萬圓を以て開設、日支合辦銀行

何れも一般銀行業務を營むものであるが、中國銀行は主として爲替業務を營み、且關稅竝に鹽稅收入の取扱をなし、交通銀行も爲替業務を主とし、特產方面に相當の貸出をなすと共に銀爐及錢莊方面に對しても貸出をなし、東三省官銀號は地方官廳の公金取扱と奉天票及現大洋票の發行調節を主業とするものである。邊業銀行に至つては比較的設立日淺きため、營口に於ては未だ特殊の活動の見るべきものはない。此の外、庶民金融機關として儲蓄會あり、信託會社の業務をも兼營し相當の活動をなして居る。

第三　錢莊

營口に於ける錢莊は其の數大小合せて二十三戶を算するが、銀爐あるため何れも活動範圍比較的狹少なるを免れない。其の內資本の相當豐富なるものは、上海爲替の取引をなす外、貿易方面への貸出をもなし相當の活動をなしつゝあるも、大部分は取引額も大ならず、專ら各種貨幣の賣買、兩替を主とする。今主なる錢莊を擧ぐれば、公成永、福順仁、公成裕、成興號、中合興、福慶和、永泰恒、天和隆等がある。

第四　銀爐

營口は天津條約により開港せられて以來、山東直隸よりの移民の次第に增加すると共に商業亦漸次發達し、殊に光緒の初年南支地方との取引の勃興するに及んで廣東商人により元寶銀の輸入增加し、大口取引の通貨として使用せらるゝに至つた。當時營口の元寶銀は營平銀と稱し、重量營平の五十三兩五匁、品位九九二位を一錠となし、營平銀一千兩は潘平銀一、〇〇二兩、吉平銀一、〇〇九兩、鎭平銀九八九兩に相當した。斯く各地通用の元寶銀は何れも品位、重量の異るため、他地方より輸入せ

られたる元寶銀は之を營平銀に改鑄する必要あり、此改鑄を行ふ專門業者は即ち銀爐であつた。然るに營口貿易の發展と取引高の增大に伴れ、改鑄を依賴する者漸く多きを加へて、遂に銀爐の鑄造能力に不足を來たし、且銀爐の信用に基き過爐銀の制度は、曾て十八世紀北歐アムスタアダムに發達を見たる銀行貨幣 Bankgeld の制度を現出するに至つた。尙過爐銀に就ては本書第一章第二節第二項過爐銀の項を參照せられたい。斯くて銀爐は恰も銀行の當座預金の如き營業をなし、漸く金融市場の一勢力をなすに至つたが、時の經過と共に銀爐は預託されたる爐銀(元寶銀)を利用して、盛に當座貸越又は信用貸付を行ふに至りて其の業態に變化を來し、時勢の變轉に艱されて、銀爐の隆盛、過爐銀の流通共に往時の如くならざるに至つた。

營口過爐銀の發生は實に六十年の歷史を有し、其間銀爐は幾多の變遷を示して或は倒れ或は興り、明治三十九年頃には三十三戶を算したる記錄を有するも、翌四十年には營口唯一の巨商東和盛の破綻あり、後、西義順、厚發合の破綻に遭ひて銀爐は次第に衰退の途を辿り、其の勢力昔日の觀はない。現在に存する銀爐は僅に左記の六戶に過ぎぬ。何れも傍ら油房又は綿絲布等を營めるが、最近東記銀號破綻して其の整理中である。

銀爐名	開設年	資本金	積立金
公益銀號	民國七年(一九一八年)	五〇〇、〇〇〇兩	二五〇、〇〇〇兩
永惠興	光緒二十五年(一八九九年)	五〇〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
永茂號	光緒三十年(一九〇四年)	五〇〇、〇〇〇	一八〇、〇〇〇
世昌德	光緒十六年(一八九〇年)	五〇〇、〇〇〇	一八〇、〇〇〇
厚發合鎗記	民國十一年(一九二二年)	五〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
東記銀號	民國十三年(一九二四年)	五〇〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇

第四項　金融爲替事情

第一　一般金融

營口經濟の根幹は概說に述べたる如く輸出入貿易及油房工業に存するを以て、同地金融の繁閑は主として特產物の出廻及貿易の狀況に伴ふこと、他の滿洲國開港都市に於けると大體に於て異る所はない。每年三月下旬遼河の解氷と共に汽船の出入頻繁となり、輸出入貿易頓に活氣を呈し、金融方面亦頗る繁忙を加へ、支那側金利は時に二割乃至三割位に上ることがある。而して六月頃迄は概ね此の趨勢を持續し、七、八月は所謂夏枯れ時とて一般に閑散となり、九月下旬頃新穀の出廻り初まりて輸出の旺盛となると共に、輸入方面も秋季手當と冬物の見越買にて商況再び活況を呈し、十一月中旬遼河の結氷期に近づけば一般の商況としては一年中の最盛時季に達する。十一月下旬遼河結氷以後翌年三

月下旬迄は所謂冬眠季にて、一般商取引甚だ閑散を極むるも、獨り油房筋のみは此間開河後受渡の先物製品に忙殺せらるゝを常とし、南支竝に日本筋の需要如何によりては、此の豆粕取引は異常の活況を呈する。

尙ほ當地金融狀況に就ては、在營口日本側銀行の左記の統計を揭げ其の一端を窺知するに止める。

		昭和五年末	昭和六年末
預金	金	一、四二七、七四二円	一、五〇八、二〇三円
	銀	二〇四、八七六	二九三、五七七
貸出	金	三、五八一、四五四	二、九七三、一六〇
	銀	二、七〇〇	三二七、七〇〇

			昭和四年中	昭和五年中
爲替取扱高	金	受入	八五、六三三、二三九円	四三、一二三、二二八円
		拂出	八二、三一三、三六三	四〇、七九一、八四九
	銀	受入	一六、七五九、五二二	一三、二二六、〇七三
		拂出	一五、七八八、八八五	一四、九三六、七六九

第二　外國爲替

(一)　概　說

營口の對外爲替關係は主として特產物の輸出及各種輸入品代金の決濟に基くものなるが、其の輸出入貿易總額の七割は對支沿岸貿易にして、他の三割は各國との貿易額に當り、其內過半は對日本貿易である。從て對支對日爲替は營口對外爲替關係の主要なるものに屬する。

日本以外の金本位國に對する貸借決濟は金圓を通すか、又は上海兩に換算の上決濟せられる。一時英國石油會社其他の磅送金及米貨送金ありたるも、銀建に變更せられたるため現在にては上海にて金融せられてゐる樣である。又支那各地に對するものは過爐銀を通じ上海兩を以て決濟せらるゝか、又は大連にて鈔票を通じて爲替の取極が行はれる。

(二)　上海會水

營口には會水なるものあり、滙水とも云ひ、一地方の通貨と他地方の通貨の價格の開き即ち爲替相場を意味し、商人は會水により過爐銀を以て爲替を取組み貸借決濟を行ふ。從前は吉林、奉天、錦州、煙臺等の各地に對する會水ありしが、現在にては上海會水のみがある。上海會水は上海兩一千兩に對し過爐銀幾許と建てられ、此平價は上海兩一、〇〇〇兩は營平銀九七三兩九七に相當すとされて居る。併しながら過爐銀が銀錠と別離せし以來、其價格は著しく下落し、上海會水は兩地間貿易竝に

金融狀況に依る外、過爐銀決濟貨幣たる大洋騰落の材料に支配せられて騰落し、左の如き相場を示して居る。

昭和四年末	二、九〇二兩
同　五年六月末	二、九三六兩
同　六年八月三日	二、九六七兩

上海會水は電信によるものを電滙と稱し、普通爲替に相當するものを票滙と云ふ。現在行はるゝものは殆ど電滙にして、小口の票滙が極めて稀に行はるゝに過ぎぬ。

電滙は銀行の電信爲替と趣を異にし、例へば營口甲が上海乙に電信送金をなす場合、甲と營口に於ける電滙の賣手たる丙との間に「定條子」と稱する約定書を交換し、丙は上海に於ける取引先に對し電信を以て乙に上海兩を支拂ふべき旨を通知し、乙は其支拂を受けたるときは其旨を營口の甲に電信を發し、甲は乙よりの通知により所定の過爐銀を丙に支拂ふものである。即ち銀行に於ける電信送金の如く、先に所定の金額を銀行に拂込むものと趣を異にする。票滙は滙券と稱する送金小切手に依るものにして、賣手は滙券を買手は過爐銀支票を受授する。滙券は三聯單にて存根は賣手に保存し、票根は賣手より上海に於ける賣手に送附し、滙券は買手より上海に送付されるものである。普通一覽後五日乃至十日拂とし、賣買の際當事者に於て取極める習慣である。

第四節　安東

第一項　概說

安東は鴨綠江を遡ること二十五哩の右岸に位し、人口十五萬七千人(此內邦人約一二、〇〇〇人、朝鮮人九、五〇〇人)を有する河港市である。鴨綠江は長白山の南麓に源を發して黃海に注ぐ二百餘里に亙る長流なるも、每年秋季は常に減水を見、且安東の下流龍岩浦より大東溝に至る一帶は泥灘なるため、一千噸以上の汽船は江外門白又は多獅島に於て貨物の積換を要し、加ふるに每年十二月上旬より翌年三月中旬に至る間、河水氷結して船舶の航行不可能となる缺點がある。然れども夙に上流地方竝に支那沿岸諸港との間に貿易行はれ、木材、大豆、柞蠶等安東に集中して自ら地方的中心地をなせしが、明治四十三年開埠以來汽船の出入增加し、更に同年十一月安奉線鐵道の開通に次で鴨綠江鐵橋完成し、鮮滿間の交通聯絡完備するや、開埠前は戎克による沿岸貿易を主とせしもの、爾來日本との貿易關係は密接となり年を逐ふて發達し、今や安東に於ける貿易の大半は日本貿易之を占むる狀況である。

安東の貿易は近年に於ける銀價下落の影響に因る外、朝鮮安東間陸接特惠關稅三分の一減稅の特典

撤廢により(昭和五年九月十六日以降)、從來安東經由奥地行貨物にして、大連、浦鹽斯德を經由するもの增加したる等のため特に輸入貿易減少せしが、滿鐵調査「滿洲經濟統計」に依り最近四箇年間の貿易額を示せば次の如くである。

(單位　千海關兩)

	輸入	輸移出	合計
昭和三年	四八、七八五	四九、八八六	九八、六七二
〃四年	四九、七八八	四二、五七二	九二、三六〇
〃五年	四四、一五二	五二、九二二	九七、〇七五
〃六年	二六、一〇九	四五、八五七	七一、九六七

右の內對日本貿易は內地朝鮮を合せて總額の七割六分、沿岸貿易は二割二分を占めて居る(昭和五年)。主要輸出品は粟、豆粕、柞蠶絲、木材等にして、輸入品の重なるものは綿絲布、砂糖、麥粉等である。

(單位　一千海關兩)

輸出品	昭和四年	昭和五年	昭和六年
豆粕	八、〇四五	八、三四	九、〇二八
柞蠶絲	七、二二五	七、二九二	九、四二六
木材	二、九七九	二、二八一	三、八三五

粟	一四、三〇五	二二、六五六	七、八七六
輸入品			
綿織物	二九、一二五	二四、三二五	七、九八五
綿絲	三、一〇四	二、七八一	二、一二六
砂糖	二、四四六	二、六二九	二、〇七六
麥粉	二、〇八六	二、一四五	二、二〇五

更に產業方面に於ては、油房工業は製材及柞蠶製絲と共に安東の三大工業と稱せられ、六十有餘年の歷史を有し、大正七、八年戰時好況の時代に於て最も隆盛を告げ、其後急激に來れる財界の不況は稍や斯業を沈衰せしめたるも、現在尙ほ工場數二十六、豆粕生產高四、〇八五、八九四枚(昭和五年)を算し、南滿に於ては大連に次ぎ營口と伯仲する。又安東に於ける柞蠶の飼育は光緒の頃より漸次に發達し、日露戰後邦商によりて柞蠶絲の內地輸出を見るに至るや、製絲業の發達を促し、同時に原料繭の需要を喚起し、益々柞蠶繭の產額を增加せしめた。殊に歐洲大戰により絲價暴騰し、柞蠶絲の輸出頗る盛況を呈するに至りしより、多數製絲工場の新設を見、其最盛時たる大正十二年には工場數六十九を算せしが、其後漸く其數を減じ現在は五十一工場、生產高二、九八六、〇二八兩を算して居る(昭和五年)。製材工業も亦油房、柞蠶と傾向を等しくし、歐洲大戰に伴ふ好況に乘じ未曾有の發展を告

げたるも、其後打續く財界不況のため極度の不振に陷り、一時三十有餘を算したる製材工場は次第に減少して二十二工場、一箇年製材高三、四一六、六〇五圓となつて居る（昭和四年）。

第二項　安東の通貨

安東に於ては古く鎭平銀竝に制錢が市場に流通し居たるが、大正六年十月商務總會議定案に依り、鎭平銀を以て本位貨幣となし大口取引（豆粕、柞蠶絲、木材等）は總て之に依り、其他の一般小口取引は小洋錢に依る旨規定され今日に及んで居る。其間大正十五年頃より大洋錢、小洋票等も各取引の區域を別にして各方面に用ひらるゝに至り、現在安東に通用する貨幣の種類は鎭平銀の外は滿洲各地に於けるものと同一である。以下各通貨の流通狀態につき其の概要を說明したい。

第一　鎭平銀

安東に於ける本位貨幣として、重要輸出入商品の大口取引の決濟に用ひらるゝものは鎭平銀にして、平は秤に通じて即ち秤量を意味し、鎭は安東の舊地名沙河鎭又は鎭口に因みしものである。鎭平銀の現物は馬蹄銀なるが現在に於ては殆ど在來のものは跡を絶ち、多く使用さるゝものは上海より移入されたる白寶である。計算の單位は兩にして以下錢、分、厘と數へ總て十進法による、兩は斤の十六分の一にして斤は我國の約五十五匁に相當するを以て、一兩は約九匁六八七五である。

現銀は公估局に於て重量品位に就き次の如き制限を受ける、即ち重量は元寶一個鎭平五十兩二錢以上なること、品位は標準銀（五十兩一錢六分の實量目に二兩七錢五分の加色を有するもの）に比し元寶一個に付鎭平二錢迄の劣等は合格品とされる。

鎭平銀一兩の含有純分量は五二五・五三九九三五トロイ・グレインにして重量は五六一・八五トロイ・グレインにして他の兩との平價は次の如くである。

鎭平銀　一、〇一三・四六四三兩
關平銀　一、〇九九・二兩
鎭平銀　一、〇〇〇兩——上海規銀
鎭平銀　一、〇〇〇兩——鎭平銀

鎭平銀は大豆、雜穀類、木材、豆粕、豆油、柞蠶及雜貨等の取引に使用せらるゝが、現銀は持運びに不便に且危險なるため、市中にては小切手を以て之に代らしめてゐる。假に豆粕の例を取れば、日本側輸出商は銀市に於て金を以て鎭平銀を買ひ、其の賣主より銀行（多くは中國銀行、東邊實業銀行、滿洲銀行、協成銀行）の小切手を以て受取り、之を豆粕の賣主たる油房に交付する。油房は之を銀行への預金とし又は大豆の買入決濟資金として地方農民に支拂ふ。農民は鎭平銀を使用せざるを以て鎭平銀を市場に賣りて大洋票、小洋錢と交換し、鎭平銀は再び日本側輸出商又は支那側需要者に渡る經路をとる。尙安東商人の鴨綠江上流地方に對する綿絲布、雜貨類の賣掛代金は年々相當巨額に達する模樣なるが、賣價は鎭平銀、小洋錢、大洋錢等各種通貨に依るも、貸借は全部鎭平銀に換算され

てゐる。

第二　大洋錢

大洋錢は支那郵便局の爲替其他送金用に使用せられ、鴨綠江上流地方に需要が多い。此他主として勞働賃銀等に使用せらるゝが、勞働者職工等は山東よりの出稼人多きを以て、彼等の手に入りたる後は山東其他の各地に送金せられ、或は持去らるゝ傾向あり、自然同地の大洋錢相場は普通他地に比して割高なることが多い。

第三　小洋錢

市中一般の店頭賣買、雜穀類取引の決濟に使用せられるが、滿洲各地にては小洋錢の使用漸次減少するに拘らず、安東にては從來通り之を使用するを以て、最近の市中在高は著しく增加して居る。

第四　銅元

補助貨として使用せらるゝが在高は極めて僅少にして、約一萬元位のものに過ぎない。

第五　現大洋票

安東に流通せる現大洋票は殆ど邊業銀行の發行せるものゝみにて、主として鴨綠江上流其他東邊各地への特產物買付資金として使用される。當地に流通し始めし當初（昭和三、四年頃）は現大洋と同價値なりしも、最近に於ては現大洋より安値なるを普通とする。

第六　奉天票

奉天票は主として上流地方の木材伐採資金又は特產買付資金の一部として用ひらるゝも、漸次回收されて他の通貨に代らんとしつゝある傾向あり、市中在高は多くない。

以上各種通貨の市場在高は固より季節に依りて增減あり、到底正確に知り得ざれども、在安東日本側一銀行の信憑すべき推定に依れば、昭和六年七月現在に於て大體次の如くである。

鎭平銀	一、二〇〇、〇〇〇兩
大洋錢	四二〇、〇〇〇元
小洋錢	二、二五〇、〇〇〇元
現大洋票	五八〇、〇〇〇元
奉天票	八、五〇〇、〇〇〇元

第七　金票

金票が邦人間に使用せらるゝは勿論なるも、支那側に於ては多くは大阪よりの輸入品取引の決濟資

金に用ひらるゝ外、錢莊等の手に依りて現大洋票又は奉天票の買入資金として奉天に送金せられ、又當地金票高の場合錢莊は賣に出で大連より其代り金を送金せしめる等、金票は大阪、奉天、大連等の各地間に絶へず流出入關係を持し、其の騰落は直ちに支那側財界に影響を及ぼす。然れば同地支那人間には夙に「安東の經濟界を左右するものは鴨綠江の水と金圓相場なり」との俚言を聞く程である。

第三項　金融機關の現狀

第一　日本側銀行

當地には日本側銀行の本店を有するもの二、支店を有するもの三ある外、他に外國銀行なく、何れも輸出入貿易竝に商工業金融に任じてゐる。朝鮮銀行には從來銀勘定の設定なかりしが、滿洲中央銀行の創立と共に其の發行せる國幣券を取扱ひ得ることゝなつた。

滿洲銀行は從來より銀勘定を有し、此の方面に於ては日本側銀行中の中心をなし、協成銀行も支那街に出張所を有し銀取扱銀行として一中心をなして居る。

（昭和六年現在）

	設立年月	本店所在地	資本金	預金	貸出	安東支店設置年月
				（單位　千圓）		
朝鮮銀行支店	明治四十二年十一月	京城	四〇、〇〇〇、〇〇〇円			
		拂込	二五、〇〇〇、〇〇〇	（金） 一、三〇七	四、四〇二	明治四十四年九月
正隆銀行支店	明治三十九年一月	大連	一二、〇〇〇、〇〇〇	（金） 四六四	五六八	大正十四年十二月
		拂込	五、六二四、三七五			
滿洲銀行支店	大正十二年七月	大連	一〇、〇〇〇、〇〇〇	（金） 一、四七五	五、四九一	大正十二年八月
		拂込	二、九〇六、六六二	（綱） 六六八	一九	
同興隆街支店				（金） 六二	二四〇	
				（大洋） —	五	大正十二年八月
協成銀行	大正九年三月	安東	一、〇〇〇、〇〇〇	（小洋） 一二八	三九	
		拂込	二五〇、〇〇〇	（綱） 六一一	三〇九	
安東實業銀行	大正八年三月	安東	五〇〇、〇〇〇	（金） 六七八	九四五	
		拂込	一二五、〇〇〇	（小洋） 五八	一八	支店なし
				（綱） 二一七	二三	
合計			五〇〇、〇〇〇	（金） 八四六	五八八	支店なし
			一二五、〇〇〇	（金） 四、八三四	一二、二三八	
				（大洋） —	五	
				（小洋） 一八六	五八	
				（綱） 一、四九八	三五一	

第二　新式支那銀行及錢莊

安東に於ける支那銀行は東三省官銀號、邊業銀行、中國銀行の各支店及當地に本店を有する東邊實

業銀行あり、其外に一の儲蓄會がある。

東邊實業銀行は當初安東商業儲蓄公會と稱し、公稱資本金小洋錢一、八〇〇、〇〇〇元、半額拂込を以て創設し、民國十年（一九二一年）に至りて現名に改稱し、小洋錢建を大洋建に變更し、現在公稱資本金現大洋三、〇〇〇、〇〇〇元である。本店を安東に有する外他に支店はない。支那側銀行は何れも一般銀行業務を營むものなるが、中國銀行は爲替業務を主とし其他關稅收入の取扱をなし、東三省官銀號及邊業銀行は柞蠶、木材等に對する貸付の外、地方官廳の公金取扱と現大洋票及奉天票の發行調節を主要業務としてゐる。

安東に於ける錢莊は大小を合せ約三十戸を算するが、概ね資力薄弱にして主として貨幣賣買を專門とし、預金貸付等を取扱はざるものが多い。其主なるものは左記の如く少數のものである。

開業年		資本金
玉盛昌	十六年前	小洋　六、〇〇〇元
大成號	十一年前	〃　一〇、〇〇〇
永利號	十七年前	〃　五、〇〇〇
聚興和	十七年前	〃　五、〇〇〇

第四項　金融爲替事情

第一　一般金融

安東の生產及貿易の狀況に就ては既に概說の項下に述べた如くである。然れば同地の金融は一般市中決算期等の關係に依る外、大豆、豆粕、柞蠶、木材等の取引に對する金融により多大の影響を受ける。即ち此等物資の出廻期に入れば資金の需要を喚起し、輸出入貿易と相俟て金融繁忙を呈し金利の騰貴を見るに至る。每年十月頃に至れば新穀、繭、柞蠶絲等の出廻を開始し、翌年三、四月迄を最盛期とし、輸出旺盛となると共に輸入方面も冬物の見越買にて商況活氣を呈し、金融も亦繁忙を告げる。繭代金の如きは地方生產者に對しては多く小洋錢を以て支拂はるゝが故に、例年此期に至れば洋錢相場は騰貴する。十二月上旬に至り鴨綠江結氷すれば右の外汽車物及馬車物大豆（冬期鐵道沿線より汽車にて又は附近各地より馬車にて來るもの）の取引行はれ、油房筋は開河後の豆粕製造に忙殺され、三月解氷と共に汽船の出入頻繁となるや輸出入貿易活潑となり、金融方面も亦繁忙を加へ、夏季は所謂夏枯時なるも河物大豆（上流地方より船にて來るもの）及木材の取引あり、木材取引は六月より九月に至るまでを最盛期とする。

尙同地に於ける金融事情に就ては、在安東日本側銀行に關する下記の統計を掲げて其の一端を推知するに止めたい。

		昭和六年末	昭和五年末
預金	金	四、八三四千圓	四、三九一千圓
	大洋	—	—
	小洋	一八六千元	四〇九千元
	銅	一、四九八千兩	九五四千兩
貸出	金	一二、二三八千圓	一二、〇〇三千圓
	大洋	五千元	五七千元
	小洋	五八千元	—
	銅	三五一千兩	五九八千兩
銀行金銀在高	金	二二八千圓	二三三千圓
	現大洋票	二千元	〇千元
	小洋錢	一七五千元	三一五千元
	銅	六三二千兩	五五〇千兩

		昭和六年中	昭和五年中
銀行爲替	仕向 金	四九、一〇四千圓	五二、五三三千圓
	銅	九〇千兩	二、一五七千兩
受拂高	被仕向 金	四四、七六一千圓	五三、一一七千圓
金利（昭和六年末）	朝鮮銀行	正金銀行	滿洲銀行 協成銀行 安東實業銀行
預金（定期一箇年）	金	四分五厘	五分 七分 七分
	銀	二九厘	三〇厘 三一厘 三六厘 三五厘
不動產	金	—	三三 —
	銀	二九厘	三三 三一 三六 三五
證券	金	二八	— — — —
	銀	—	二八 三〇 四〇 三五
商品	金	二八	— 二五 三六 —
	銀	—	三〇 三三 四〇 三七
信用	金	三〇	— 三〇 三三 三八 —
	銀	—	

當座貸越	金	二九	三〇	三八	三七
	銀	—	三二	—	—
割引手形	金	二五	二八	三二	三八	三七
	銀	—	—	三〇	—	—

第二　外國爲替

安東の對外爲替關係は主として輸出入貿易關係に基くものなるが、安東貿易の殆ど大部分は日本及支那諸港との貿易にして、其他は極めて微々たるものである。對日貿易は昭和五年度に於て輸出入合計七千四百萬海關兩にして、貿易總額の七六%に上り、之が爲替受拂は殆ど日本側銀行の取扱に屬し、總て金圓にて行はれ、受授されたる金圓は地方通貨に交換される。即ち柞蠶絲、豆粕、雜穀等の邦人輸出商は銀市に於て金票を賣り鎭平銀を受取り、買付けたる豆粕等の代金支拂に充てる。支那側に移りたる金票は直接輸入商の手に入りて大阪よりの綿絲布、雜穀類の輸入品代金の決濟に充てられ、其の一部は錢莊の手に渡りて現大洋票又は奉天票買入資金として奉天へ送金される。

支那諸港との間に於ける貸借決濟は總て鎭平銀により行はれ、就中貿易關係より見るも上海向爲替は最も重要なる地位を占める。上海向爲替取引は安東銀市に於て毎日午前五時を第一回として九時、十一時、二時、五時の五回に開かれ、相場は上海兩一〇〇兩に付鎭平銀幾許と建てられる。其平價は上海兩、一、〇〇〇兩に對し鎭平銀九八六兩である。又芝罘は貿易關係に於て上海に次ぎ、柞蠶絲の如き其の大半は日本內地に輸出せらるれども、芝罘に仕向けらるゝものも相當に存するのみならず、安東芝罘間には現銀の移出入行はれ、經濟上密接なる關係を有する。然れば芝罘向爲替は安東銀市の取引物件として上海向と同樣に每日五回開かれ、相場は芝罘兩一〇〇兩に付鎭平銀幾許と建てられる。

貿易關係に基く爲替賣買の外、鎭平銀相場が他地に比し割安の場合、銀市又は安東取引所に於て上海向爲替又は金票を賣出すこと（鎭平銀買）往々行はれ、反對に鎭平銀割高なる場合、同地の錢莊又は一部商人は銀市場に於て上海爲替又は金票買（鎭平銀賣）を行ふ。又現大洋の當地相場割高なる場合南支、山東其他各地より大洋錢が移入され、其代り金は上海向爲替或は金票の買入をなし、上海向爲替は上海に送付し金票は大連に送金せられる。其他同地金票高の場合錢莊業者は之が賣りに出で大連より其代り金を送付せしめ、同時に得たる鎭平銀を以て上海爲替を買ひ、上海兩、鈔票を經て大連よりの金圓借入を決濟する方法を採ることは多く行はるゝ所である。

附表

滿洲國產業貿易及外國投資額表

滿洲國產業貿易及外國投資額表

目次

一 滿洲產業統計……一
(1) 可耕地……一
(2) 農作物收穫高……一
(3) 畜產……一
(4) 林產……一
(5) 水產……一
(6) 鑛產……一
(イ) 石炭……一
(ロ) 鐵鑛……一
(ハ) 銑鐵……一
(7) 工產……一
(イ) 油房工業……一

(ロ) 柞蠶製絲工業……三
(ハ) 製粉工業……三
(ニ) 燐寸工業……四
(ホ) 煙草製造工業……四
(ヘ) 煉瓦工業……四
二 滿洲貿易額累年比較表……四
I 南滿洲貿易額累年比較表……四
II 北滿洲貿易額累年比較表……六
(1) 哈爾濱稅關管內……七
(2) 愛琿……七
III 間島地方貿易額累年比較表……七
(1) 琿春……七
(2) 龍井村……八
三 滿洲貿易品統計表……八
(1) 南滿三港貿易……八
(イ) 輸移出……八
(ロ) 輸移入……九
(2) 哈爾濱稅關管內……九
(イ) 輸移出……九
(ロ) 輸移入……一〇
四 列國ノ滿蒙投資額……一一
I 各國投資額比較……一一
II 投下方面ヨリ見タル投資額……一二
五 滿蒙ニ於ケル日本ノ投資額……一三
I 投資者別ヨリ見タル投資額……一三
II 投下方面ヨリ見タル投資額……一三

一　滿洲產業統計

（滿鐵調査課昭和五年同統計ニ依ル）

（1）

（1）可耕地

省別	總面積 方里	總面積 陌	可耕地 既耕地 陌	可耕地 未耕地 陌	可耕地 計 陌	不可耕地 陌	可耕地ニ對スル比率(%) 既耕地 %	可耕地ニ對スル比率(%) 未耕地 %
遼寧省	12,008	18,506,800	4,710,700	1,688,950	6,399,650	12,107,150	73.6	26.4
吉林省	17,360	26,755,300	4,945,670	5,921,070	10,866,740	15,888,560	45.5	54.5
黑龍江省	37,774	58,217,110	3,851,970	8,982,500	12,834,470	45,382,940	30.0	70.0
昭和五年計	67,142	103,479,510	13,508,340	16,592,520	30,100,860	73,378,650	44.9	55.1
昭和四年	67,142	103,479,510	13,082,990	16,305,670	29,388,660	74,090,850	44.5	55.5

（2）農作物收穫高

（單位 噸）

省別	大豆	其他豆類	高粱	粟	玉蜀黍	小麥	水稻	陸稻	其他雜穀	合計
遼寧省	1,183,040	181,360	2,638,040	936,850	928,900	95,920	77,170	64,470	769,920	6,875,670
吉林省	2,363,970	129,430	1,443,860	1,398,570	424,760	515,700	70,870	80,730	532,120	6,960,010
黑龍江省	1,750,810	58,480	697,790	941,060	232,020	745,040	6,310	12,640	420,720	4,864,870
昭和五年計	5,297,820	369,270	4,779,690	3,276,480	1,585,680	1,356,660	154,350	157,840	1,722,760	18,700,550
換算石數	40,687,260	2,566,430	37,329,380	28,079,430	12,082,880	10,269,920	1,606,780	1,805,690	17,916,700	152,344,470
昭和四年	4,849,460	377,490	4,681,520	3,351,960	1,613,290	1,302,230	136,820	156,270	1,593,690	18,062,730
昭和三年	4,834,030	476,730	4,613,350	3,274,320	1,742,630	1,469,820	149,720	144,560	1,248,380	17,953,540
昭和二年	4,816,650	434,760	4,580,010	3,209,320	1,713,710	1,445,280	147,810	146,970	1,012,060	17,506,570
昭和元年	4,775,840	415,290	4,526,420	2,967,470	1,703,920	967,900	180,380	133,490	822,570	16,493,280

（3）畜產

（單位 頭）

省別	牛	馬	騾	驢	羊	豚	計
遼寧省	516,670	669,220	321,530	349,330	518,200	3,444,030	5,818,980
吉林省	429,950	735,070	269,250	83,410	182,430	2,273,760	3,973,870
黑龍江省	658,650	1,033,700	151,920	46,000	1,939,930	1,789,400	5,619,600
昭和五年計	1,605,270	2,437,990	742,700	478,740	2,640,560	7,507,190	15,412,450
昭和四年	1,605,140	2,422,410	738,620	467,070	2,601,620	7,351,450	15,186,310

（4）林產

森林面積　36,167,518町

立木蓄積量　15,135,474,700石

木材生產數量

（單位 石）

生產地別＼年次	昭和五年	昭和四年	昭和三年	昭和二年	昭和元年
鴨綠江	787,785	948,916	1,412,651	1,919,934	1,247,119
吉林	1,015,571	1,042,531	997,000	580,366	451,900
間島及琿春	—	370,800	478,200	336,240	218,610
北滿	566,364	1,484,724	2,230,900	1,048,976	1,459,066
合計	未詳 —	3,846,971	5,118,751	3,885,516	3,376,695

（5）水產

（單位 圓）

	昭和五年	昭和四年	昭和三年	昭和二年	昭和元年
漁獲高	3,421,026	4,685,171	4,300,180	3,514,114	3,204,724
製鹽高	1,062,305	1,196,745	1,307,181	1,331,661	1,878,682

（6）鑛　　産

（イ）石　　炭

	埋藏量（推定炭量）	出炭高			
		昭和四年	昭和三年	昭和二年	昭和元年
遼寧省	1,174,006,000噸	8,564,672噸	8,250,651噸	8,115,078噸	7,480,187噸
吉林省	38,850,000	563,000	467,287	327,990	279,117
黑龍江省	243,387,000	306,500	354,289	238,700	182,099
熱河省	1,255,000,000	490,775	405,216	278,642	198,445
合計	2,711,243,000	9,924,947	9,477,443	8,960,400	8,139,848

（ロ）鐵　　鑛

埋藏量（推定礦量）　697,830,000噸

	昭和五年	昭和四年	昭和三年	昭和二年	昭和元年
採掘高	889,421噸	985,671噸	710,286噸	959,011噸	1,117,215噸

（ハ）銑　　鐵

	生産高（單位噸）				
	昭和五年	昭和四年	昭和三年	昭和二年	昭和元年
鞍山製鐵所	288,433	217,858	220,637	203,445	165,054
本溪湖煤鐵有限公司	85,060	76,300	63,030	50,500	51,000
合計	373,493	294,158	283,667	253,945	216,054

（7） 工　　産

（イ） 油房工業

地方別	工場數		資本金	一晝夜製造能力		豆粕生産高		
	稼工場數	休業工場		豆油	豆粕	昭和三年	昭和四年	昭和五年
大連	48	10	金円 7,174,000円	847,575斤	169,515枚	22,575,230枚	17,763,550枚	17,254,800枚
營口	20	4	鈔票 8,586,000円	123,875	24,775	5,451,328	2,000,700	3,469,800
安東	26	6	奉票 1,243,000元	224,000	44,800	4,114,080	5,064,320	4,085,894
哈爾濱	39	—	現大洋 2,319,433元	475,020	95,004	10,916,400	13,129,377	13,546,710
北滿沿線	31	—	小洋 534,700元	220,025	44,005	3,470,800	4,933,480	5,316,320
南滿沿線	278	40	銀平銀 2,044,200開	427,975	88,187	7,073,705	7,128,615	6,669,174
			哈大洋 4,365,000元					
計	442	60	官帖 1,600,000吊	2,318,470	466,286	53,601,543	50,020,042	50,342,698

註　休業工場ハ一ケ年以上ノモノヲ示シ、三ケ年以上休業再起ノ見込ナキモノ竝ニ廢業破産ノモノニテ一部設備現存セルモ之ヲ省略セリ。

（ロ） 柞蠶製絲工業（安東）

年次	工場數	資本金	生産高			
			本廠糸		挽手	
			數量	價額	數量	價額
昭和元年	49（內休業11軒）	金 250,000円 銀 806,000開 8,500元	箱 7,823	開 4,298,630	瓩斤 697,760	開 377,491
昭和二年	47（內休業11軒）	銀 598,000開 13,200元	箱 4,489	2,406,126	337,573	211,529
昭和三年	36（內休業5軒）	銀 527,300開	梱 6,370	1,948,900	596,096	799,862
昭和四年	51（內休業3軒）	銀 261,300開 小洋 36,700元 大洋 21,700元	箱 7,153	2,387,570	533,660	598,458

（ハ） 製粉工業

所在地	工場數	經營者國別	資本金 貨幣種別	資本金 金額	製粉機	一晝夜能力	生産高 昭和四年 數量	生産高 昭和四年 金額	生産高 昭和五年 數量	生産高 昭和五年 金額
北滿	40	佛3 支37	金	350,000円	臺 315	布度 68,025	布度 15,394,136	円 38,885,188	布度 14,484,476	円 26,925,659
			現大洋	14,950,000元		換算 斤 1,857,082	換算 斤 4,202,599,128		換算 斤 3,954,261,948	
			江帖	30,000,000吊						
南滿	5	日1 支4	金	250,000円		斤 1,450,400	斤 104,811,565	円 8,042,132	斤 86,252,587	円 5,020,375
			現大洋	900,000元						
			鈔票	400,000元						
合計	45	佛31 日支41	金	600,000円		斤 3,307,482	斤 4,307,410,693	円 46,927,320	斤 4,040,514,535	円 31,946,034
			現大洋	15,850,000元						
			江帖	30,000,000吊						
			鈔票	400,000元						

註　1. 滿洲ニ於ケル製粉工業地トシテハ南滿ニ於ケル長春及北滿地方特ニ哈爾濱ニ限ラレタル狀態ナリ。
2. 一布度ハ 27.3 斤トシテ換算セリ。
3. 在北滿工場資本金ハ休業7工場、不詳6工場ヲ、製粉機ハ不詳11工場ヲ除ク。

（ニ）　燐寸工業

工場數	經營者國別	資本金		全工場一晝夜能力	生産高			
					昭和四年		昭和五年	
		貨幣種別	金額		數量	金額	數量	金額
17	純日 2 瑞典系4 支 11	金 現大洋 鈔票 哈大洋	円 2,520,800 元 2,070,000 円 100,000 元 550,000	箱 2,580	箱 420,009	金 円 2,093,547 現大洋 元 733,000	箱 361,975	金 円 1,390,118 現大洋 元 898,888

（ホ）　煙草製造工業

工場數			經營者國別	資本金		全工場一晝夜能力	生産高			
							昭和四年		昭和五年	
日	支	計		貨幣種別	金額		數量	金額	數量	金額
12			日 6 支 3 英 2 露 1	金 現大洋 留	円 13,412,000 （内本店資本金 円 11,900,000） 元 8,066,000 留 21,000,000（本店資本金）	箱 16,280 斤 5,000	箱 238,023 貫 155,727	金 円 13,926,685 現大洋 元 15,660,000	箱 210,590 貫 85,864	金 円 13,430,000 現大洋 元 4,662,758

註　工場所在地ハ奉天、營口、哈爾濱ナリ。

（ヘ）　煉瓦工業

工場數			資本金		生産高（昭和五年）				
					數量			金額	
日	支	計	貨幣種別	金額	赤煉瓦	黒煉瓦	計	貨幣種別	金額
48	305	353	金	円 5,888,000	個 245,406,880	個 82,174,600	個 327,581,480	金	円 1,584,726
			小洋銀	元 420,250				小洋銀	元 207,817
			現大洋	元 801,500				現大洋	元 824,690
			哈大洋	元 630,800				哈大洋	元 768,500
			吉林官帖	吊 8,950,000				吉林官帖	吊 14,680,000

註　支那側ノ資本金ガ日本側ニ比シ少額ナルハ日本側ハ所謂資本金ナルニ對シ支那側ハ投資額ナルニ由ル。

二　滿洲貿易額累年比較表

（單位 海關兩）

	昭和元年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年
南滿洲（大連、營口、安東三港）					
輸移入	248,134,219	238,052,185	266,381,829	308,141,617	284,774,666
輸移出及再輸移出	299,506,287	327,604,823	348,036,884	379,312,055	339,100,803
計	**547,640,506**	**565,657,008**	**614,418,713**	**687,453,672**	**623,875,469**
北滿洲					
イ、哈爾濱稅關管內					
輸移入	20,991,858	23,037,818	28,658,661	16,146,186	16,988,756
輸移出及再輸移出	65,497,242	73,842,791	80,319,400	41,867,844	53,773,443
計	**86,489,100**	**96,880,609**	**108,978,061**	**58,014,030**	**70,762,199**
ロ、愛琿					
輸移入	2,652,051	1,408,496	1,413,556	384,435	427,197
輸移出及再輸移出	1,469,314	1,206,889	967,713	295,602	537,079
計	**4,121,365**	**2,615,385**	**2,381,269**	**680,037**	**964,276**
合計	**90,610,465**	**99,495,994**	**111,359,330**	**58,694,067**	**71,726,475**
間島地方					
イ、琿春					
輸移入	1,374,101	1,334,401	1,443,078	1,008,541	983,435
輸移出及再輸移出	781,194	1,028,830	1,647,698	911,894	772,732
計	**2,155,295**	**2,363,231**	**3,090,776**	**1,920,435**	**1,756,167**
ロ、龍井村					
輸移入	4,281,297	5,080,686	5,058,780	3,923,090	3,180,566
輸移出及再輸移出	2,902,916	4,352,846	3,063,729	3,264,096	2,529,999
計	**7,184,213**	**9,433,532**	**8,122,509**	**7,187,186**	**5,710,565**
合計	**9,339,508**	**11,736,763**	**11,213,285**	**9,107,621**	**7,466,732**
總計 輸移入	**277,433,526**	**268,913,586**	**302,955,904**	**329,603,869**	**306,354,620**
總計 輸移出及再輸移出	**370,156,953**	**408,035,179**	**424,035,424**	**425,651,491**	**396,714,056**
總計 計	**647,590,479**	**676,949,765**	**736,991,328**	**755,255,360**	**703,068,676**

註　滿鐵調査課編北支那年報ニ依ル。以下各表同シ。

I　南滿洲貿易額累年比較表

（單位 海關兩）

			昭和元年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年
汽船貿易	外國品						
		外國ヨリ輸入額	152,607,128	150,958,320	179,166,677	209,684,893	186,620,238
		支那ヨリ移入額	18,347,998	18,418,928	16,977,622	17,358,362	17,738,621
		計	170,955,126	169,377,248	196,144,299	227,043,255	204,358,859
		外國へ再輸出額	2,080,282	2,329,720	2,019,557	2,763,870	3,009,219
		支那へ再移出額	3,538,013	5,356,227	5,498,438	6,838,349	7,276,578
		計	5,618,295	7,685,947	7,517,995	9,602,219	10,285,797
		純輸移入額	165,336,831	161,691,301	188,626,304	217,411,036	194,073,062
	支那品						
		支那ヨリ移入額	67,468,268	59,969,991	62,071,086	73,533,666	73,149,869
		外國へ再輸出額	4,864,721	6,378,095	4,934,568	2,981,033	2,259,394
		支那へ再移出額	190,109	158,927	181,765	393,796	255,040
		計	5,054,830	6,537,022	5,116,333	3,374,829	2,514,434
		純移入額	62,413,438	53,432,969	56,954,763	70,158,837	70,635,435
		外國へ輸出額	197,750,013	209,228,813	233,427,464	281,565,368	232,307,556
		支那へ移出額	78,323,046	88,725,701	85,932,386	73,940,644	85,184,383
		計	276,073,059	297,954,514	319,359,850	355,506,012	317,491,939
汽船貿易		輸移入額	238,423,394	229,347,239	258,215,385	300,576,921	277,508,728
		輸移出額	276,073,059	297,954,514	319,359,850	355,506,012	317,491,939
		再輸移出額	10,673,125	14,222,969	12,634,328	12,977,048	12,800,231
		計	525,169,578	541,524,722	590,209,563	669,059,981	607,800,898
戎克貿易		移入額	9,710,825	8,704,946	8,166,444	7,564,696	7,265,938
		輸移出及再移出額	12,760,103	15,427,340	16,042,706	10,828,995	8,808,633
		計	22,470,928	24,132,286	24,209,150	18,393,691	16,074,571
合計		總移入額	248,134,219	238,052,185	266,381,829	308,141,617	284,774,666
		總移出及再總移出額	299,506,287	327,604,823	348,036,884	379,312,055	339,100,803
		計	547,640,506	565,657,008	614,418,713	687,453,672	623,875,469

註　1. 汽船貿易中ニハ安東ニ於ケル對朝鮮陸路貿易ヲ包含ス。戎克貿易ハ昭和三年迄ハ大連營口二港分ノ合算額ナリ。

2. 滿鐵滿洲經濟統計ニ依リ昭和六年中ノ南滿三港貿易額ヲ算出スレバ次ノ如シ。但營口ニ於ケル同年中ノ戎克貿易ハ汽船貿易中ニ包含サレ、安東ニ於ケル同年戎克貿易ハ六月以降ハ汽船貿易中ニ包含サル。

汽船貿易	輸移入額	200,326,052
	輸移出額	407,261,560
	再輸移出額	12,580,084
	計	620,167,696
戎克貿易	移入額	3,011,558
	輸移出及再移出額	8,489,201
	計	11,500,759
總計	總移入額	203,337,610
	總移出及再總移出額	428,330,845
	計	631,668,455

II　北滿洲貿易額累年比較表

（1）哈爾濱稅關管內　（單位海關兩）

	昭和元年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年
外國品					
外國ヨリ輸入額	20,242,952	22,026,287	27,915,479	15,752,603	16,143,792
支那ヨリ移入額	28,501	23,839	29,750	5,610	9,002
計	20,271,453	22,050,126	27,945,229	15,758,213	16,152,794
外國へ再輸出額	2,773,791	2,385,357	1,476,743	1,161,220	437,545
支那へ再移出額	1,670,811	862,021	467,298	188,869	405,427
計	4,444,602	3,247,378	1,944,041	1,350,089	842,972
純輸移入額	15,826,851	18,802,748	26,001,188	14,408,124	15,309,822
支那品					
支那ヨリ移入額	720,405	987,692	713,432	387,973	835,962
外國へ再輸出額	—	—	—	—	—
支那へ再移出額	354,209	170,532	166,315	58,173	136,476
計	354.209	170,532	166,315	58,173	136,476
純移入額	366.196	817,160	547,117	329,800	699,486
外國へ輸出額	58,357,343	68,354,506	76,436,377	39,864,567	50,839,302
支那へ移出額	2,341,088	2,070,375	1,772,667	595,015	1,954,693
計	60,698,431	70,424,881	78,209,044	40,459,582	52,793,995
合計 輸移入額	20,991,858	23,037,818	28,658,661	16,146,186	16,988,756
合計 輸移出額	60,698,431	70,424,881	78,209,044	40,459,582	52,793,995
合計 再輸移出額	4,798,811	3,417,910	2,110,356	1,408,262	979,448
合計 計	86,489,100	96,880,609	108,978,061	58,014,030	70,762,199

（2）愛　　琿

	昭和元年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年
外國品					
外國ヨリ輸入額	140,106	110,966	141,595	21,555	6,864
支那ヨリ移入額	1,017,073	518,111	393,101	92,278	235,423
計	1,157,178	629,077	534,696	113,833	242,287
外國へ再輸出額	103,456	71,255	73,567	5,358	47
支那へ再移出額	364,288	213,016	141,125	29,566	57,330
計	467,744	284,271	214,692	34,924	57,377
純輸移入額	689,434	344,806	320,004	78,909	184,910
支那品					
支那ヨリ移入額	1,494,873	779,419	878,860	270,602	829,727
外國へ再輸出額	1,602	122	—	—	—
支那へ再移出額	556,697	319,865	200,099	74,903	153,140
計	558,299	319,987	200,099	74,903	153,140
純移入額	936,574	459,432	678,761	195,699	676,587
外國へ輸出額	1,759	162	130,628	4,098	1,784
支那へ移出額	441,512	602,469	422,294	181,677	324,778
計	443,271	602,631	552,922	185,775	326,562
合計 輸移入額	2,652,051	1,408,496	1,413,556	384,435	427,197
合計 輸移出額	443,271	602,631	552,922	185,775	326,562
合計 再輸移出額	1,026,043	604,258	414,791	109,827	210,517
合計 計	4,121,365	2,615,385	2,381,269	680,037	964,276

III　間島地方貿易額累年比較表

（1）琿　　春

（單位 海關兩）

		昭和元年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年
外國品	外國ヨリ輸入額	1,370,843	1,332,977	1,438,732	904,795	964,570
	支那ヨリ移入額	3,258	1,424	4,346	—	337
	計	1,374,101	1,334,401	1,443,078	904,795	964,907
	外國へ再輸出額	—	—	—	—	—
	支那へ再移出額	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—
	純輸移入額	1,374,101	1,334,401	1,443,078	904,795	964,907
支那品	支那ヨリ移入額	—	—	—	103,746	18,528
	外國へ再輸出額	—	—	—	—	—
	支那へ再移出額	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—
	純移入額	—	—	—	103,746	18,528
	外國へ再輸出額	781,194	1,028,830	1,647,698	911,894	742,406
	支那へ再移出額	—	—	—	—	30,326
	計	781,194	1,028,830	1,647,698	911,894	772,732
合計	輸移入額	1,374,101	1,334,401	1,443,078	1,008,541	983,435
	輸移出額	781,194	1,028,830	1,647,698	911,894	772,732
	再輸移出額	—	—	—	—	—
	計	2,155,295	2,363,231	3,090,776	1,920,435	1,756,167

（2）龍　井　村

		昭和元年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年
外國品	外國ヨリ輸入額	4,281,297	5,080,686	5,058,780	3,658,378	3,049,308
	支那ヨリ移入額	—	—	—	16	116
	計	4,281,297	5,080,686	5,058,780	3,658,394	3,049,424
	外國へ再輸出額	7,462	6,361	7,890	4,149	5,993
	支那へ再移出額	—	—	—	—	—
	計	7,462	6,361	7,890	4,149	5,993
	純輸移入額	4,274,101	5,074,325	5,050,890	3,654,245	3,043,431
支那品	支那ヨリ移入額	—	—	—	264,696	131,142
	外國へ再輸出額	—	—	—	—	—
	支那へ再移出額	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—
	純移入額	—	—	—	264,696	131,042
	外國へ輸出額	2,895,454	4,346,485	3,055,839	3,246,607	2,522,390
	支那へ移出額	—	—	—	13,340	1,616
	計	2,895,454	4,346,485	3,055,839	3,259,947	2,524,006
合計	輸移入額	4,281,297	5,080,686	5,058,780	3,923,090	3,180,566
	輸移出額	2,895,454	4,346,485	3,055,839	3,259,947	2,524,006
	再輸移出額	7,462	6,361	7,890	4,149	5,993
	計	7,184,213	9,433,532	8,122,509	7,187,186	5,710,565

三　滿洲貿易品統計表　（滿鐵調査北支那年報ニ依ル）

（1）南滿三港貿易

（イ）輸出移轉

（價額單位海關兩）

番號	品名	數量單位	昭和元年 數量	昭和元年 價額	昭和二年 數量	昭和二年 價額	昭和三年 數量	昭和三年 價額	昭和四年 數量	昭和四年 價額	昭和五年 數量	昭和五年 價額	番號
1	大豆	擔	12,886,668	47,313,730	17,026,722	63,451,963	24,669,068	100,145,061	36,923,816	140,510,442	21,641,366	84,574,372	1
2	其他豆類	〃	1,905,278	7,154,730	2,407,310	8,755,125	1,819,125	8,116,902	1,845,956	7,798,229	2,068,457	9,315,706	2
3	玉蜀黍	〃	3,162,959	9,413,935	1,647,078	4,459,005	1,284,716	3,576,819	1,477,899	3,885,262	1,083,478	3,076,398	3
4	高粱	〃	4,913,861	11,959,905	7,177,188	17,096,763	7,620,201	18,698,851	3,158,352	7,627,470	2,224,057	6,157,698	4
5	粟	〃	5,296,556	23,549,041	6,059,315	29,951,130	4,751,763	21,239,898	3,607,118	15,796,251	4,003,212	24,111,322	5
6	小麥	〃	2,793	12,274	253,950	1,040,414	955,081	3,746,200	550,786	2,046,425	99,749	389,601	6
7	其他穀物	〃	397,684	1,270,350	876,615	2,260,540	655,501	2,321,402	600,492	2,238,330	558,306	2,214,254	7
8	麻子	〃	156,324	1,288,688	71,989	680,790	135,102	1,336,555	231,954	2,085,169	79,271	612,536	8
9	胡麻子	〃	202,982	1,970,687	140,426	1,340,159	237,266	1,984,423	134,209	1,426,199	83,904	980,422	9
10	落花生	〃	336,725	987,820	185,917	605,270	355,145	1,234,932	408,488	1,682,043	544,090	2,061,649	10
11	蘇子	〃	159,031	907,293	67,871	414,744	108,113	657,655	144,953	1,059,467	260,593	2,120,071	11
12	其他種子	〃	426,534	2,094,921	658,547	3,642,694	858,636	4,768,394	1,073,740	5,833,250	1,560,702	10,908,160	12
13	野菜	〃	19,155	458,521	27,284	261,244	19,391	195,151	15,811	162,955	23,286	159,504	13
14	果物	〃	3,591	16,285	10,059	41,591	7,751	47,772	4,020	21,656	13,784	86,824	14
15	麥粉	〃	69,768	412,135	69,934	368,692	293,808	1,581,580	97,761	525,441	44,722	263,257	15
16	鼓		468,754	952,058	923,839	1,849,880	1,244,316	2,260,796	1,124,648	2,011,478	745,409	1,617,014	16
17	鷄卵	千箇	310	3,792	1,227	15,474	1,963	24,658	18	219	10	182	17
18	水產物		36,793	371,868	68,232	528,800	104,706	699,940	136,998	765,702	106,237	640,659	18
19	支那酒	擔	91,727	1,216,002	108,162	1,218,626	63,550	747,206	89,573	1,110,376	87,012	1,165,345	19
20	煙草	〃	—	1,690,569	—	2,547,627	—	2,274,313	—	2,143,996	—	1,719,708	20
21	鹽	〃	2,702,137	1,489,688	2,191,568	1,954,785	2,684,724	1,579,423	3,782,752	2,587,286	3,615,229	3,931,674	21
22	其他飲食料品	〃	—	601,079	—	536,275	—	554,482	—	629,075	—	967,568	22
23	粕	〃	25,522,164	72,956,517	25,532,359	68,381,585	20,298,638	57,200,598	18,612,054	54,506,918	17,239,355	49,564,461	23
24	豆油	〃	2,379,312	27,875,559	2,347,441	25,825,622	1,911,978	21,140,117	1,925,646	21,113,641	2,075,625	24,958,326	24
25	其他油脂	〃	102,087	1,176,694	80,468	973,882	357,224	707,932	368,009	681,817	408,433	1,690,871	25
26	麻	〃	18,644	106,156	42,668	337,795	22,748	182,636	5,880	52,233	19,678	183,964	26
27	花	〃	274	7,580	145	4,213	158	4,246	995	30,832	436	14,437	27
28	棉	〃	40,364	893,020	26,908	707,952	37,359	615,659	24,273	368,121	28,287	537,687	28
29	柞蠶絲	〃	24,816	10,493,915	22,390	10,256,250	24,799	8,585,714	26,733	9,096,600	25,619	9,415,799	29
30	屑繭	〃	22,060	1,027,677	18,102	1,191,559	23,574	1,371,597	17,047	1,085,319	13,412	925,743	30
31	絹織物	〃	—	533,134	—	422,760	—	701,610	—	1,016,180	—	671,552	31
32	毛	擔	9,624	1,623,423	5,903	872,425	10,850	1,786,428	11,660	1,795,080	6,733	1,171,972	32
33	毛	〃	11,858	371,042	13,387	350,098	12,154	334,440	48,223	1,572,277	16,842	571,834	33
34	毛織物	〃	11,721	515,152	10,372	550,153	8,861	622,537	24,053	774,777	9,766	594,301	34
35	皮革	〃	—	1,356,589	—	1,337,574	—	3,368,909	—	4,812,609	—	3,826,478	35
36	牙		908	5,309	50	828	15	1,784	78	2,863	93	6,867	36
37	骨	〃	216,217	425,578	204,233	445,886	240,823	522,109	227,732	495,450	207,014	460,771	37
38	畜產	頭羽	16,119	188,191	4,775	76,594	7,583	87,631	16,399	245,593	31,522	692,675	38
39	食脂	〃	83,957	6,042	140,572	17,345	105,985	10,683	109,762	9,410	101,601	12,783	39
40	獸脂	擔	1,602	20,039	1,224	12,240	690	8,957	1,285	16,676	3,630	50,820	40
41	竹及木材	等	—	4,834,528	—	6,002,934	—	4,479,727	—	3,506,496	—	2,905,982	41
42	薪炭及木炭	擔	20,907	24,151	27,822	20,868	9,581	11,998	8,447	9,992	2,687	5,722	42
43	石炭及コークス	噸	3,757,377	35,201,694	4,396,872	35,263,414	4,407,542	34,887,668	4,707,513	37,619,966	4,389,693	37,585,095	43
44	其他鑛產品	英	—	919,039	—	833,951	—	1,002,207	—	970,796	—	982,124	44
45	藥材及藥品	〃	—	1,969,589	—	1,422,908	—	1,730,708	—	1,789,534	—	2,042,151	45
46	染料及塗料	〃	—	165,303	—	180,262	—	148,134	—	109,481	—	148,993	46
47	人蔘	斤	276,202	611,955	207,507	512,741	406,677	738,606	219,555	835,432	448,316	1,039,535	47
48	鐵製品	擔	2,952,586	4,620,655	3,710,149	6,133,643	4,125,468	7,515,097	3,869,879	7,368,432	3,792,758	8,508,870	48
49	其他金屬及同製品	〃	—	97,316	—	250,156	—	226,740	—	1,216,460	—	2,134,991	49
50	其他雜金屬品	〃	—	4,329,764	—	6,447,313	—	8,125,784	—	11,273,805	—	17,557,414	50
51	小包郵便物		—	505,761	—	536,393	—	91,444	—	420,500	—	101,342	51
	輸移出計		—	287,996,743	—	312,330,935	—	334,004,113	—	364,744,014	—	325,437,484	
52	再輸移出 支那品		—	5,054,830	—	6,537,022	—	5,116,333	—	3,374,829	—	3,377,522	52
	再輸移出 外國品		—	6,454,714	—	8,736,866	—	8,916,438	—	11,193,215	—	10,285,797	
	再輸移出計		—	11,509,544	—	15,273,888	—	14,032,771	—	14,568,044	—	13,663,319	
	合計		—	299,506,287	—	327,604,823	—	348,036,884	—	379,312,055	—	339,100,803	

(10)

(ロ) 輸入移

(價額單位海關兩)

番號	品名	數量單位	昭和元年 數量	昭和元年 價額	昭和二年 數量	昭和二年 價額	昭和三年 數量	昭和三年 價額	昭和四年 數量	昭和四年 價額	昭和五年 數量	昭和五年 價額	番號
1	綿織物		—	58,264,884	—	52,192,625	—	55,282,211	—	65,150,632	—	52,636,746	1
2	毛及毛綿交織物		—	5,877,477	—	6,709,265	—	8,719,191	—	8,013,914	—	6,163,479	2
3	絹及絹綿交織物		—	3,889,092	—	3,425,921	—	3,692,647	—	4,487,392	—	2,829,527	3
4	其他雜織物		—	2,071,873	—	2,329,355	—	4,433,454	—	3,942,637	—	1,428,773	4
5	綿縫絲		—	414,774	—	443,335	—	475,000	—	440,679	—	479,059	5
6	綿織絲	擔	307,312	16,322,297	266,145	12,896,381	261,185	12,650,642	240,534	12,065,726	210,369	10,921,372	6
7	棉花	〃	192,713	5,929,697	185,945	5,973,933	180,438	5,857,786	90,771	3,133,747	221,053	8,269,849	7
8	繭絲及絹製品		—	225,117	—	246,417	—	234,595	—	382,683	—	394,000	8
9	其他絲繭及材料		—	2,149,269	—	2,156,009	—	3,085,652	—	4,183,606	—	3,705,830	9
10	衣服及附屬品		—	3,533,241	—	3,477,915	—	5,702,380	—	6,183,562	—	4,972,298	10
11	米	擔	492,228	2,881,763	386,475	2,225,790	429,710	2,477,406	361,319	1,919,179	460,271	2,763,824	11
12	其他穀物及種子	〃	467,298	1,803,885	586,837	2,667,366	580,079	2,482,756	771,846	3,237,140	958,738	4,284,941	12
13	麥粉	〃	3,674,936	19,144,635	1,460,019	7,528,319	1,649,743	7,883,052	4,411,217	22,600,277	3,335,100	17,954,612	13
14	野菜	〃	207,027	595,443	232,467	674,982	225,987	747,171	339,012	890,608	435,093	1,159,839	14
15	果物	〃	493,477	3,146,680	464,733	2,666,549	452,729	2,502,435	584,744	3,068,446	443,342	2,398,799	15
16	砂糖	〃	744,157	5,266,084	768,002	5,465,188	921,539	6,354,578	1,253,851	8,443,764	1,264,786	9,637,302	16
17	水產物	〃	386,679	2,631,691	327,278	2,595,141	410,035	3,416,932	393,242	3,355,479	341,496	3,217,584	17
18	其他食料品		—	5,092,607	—	5,386,027	—	6,538,304	—	7,115,123	—	9,127,536	18
19	茶	擔	73,036	2,793,141	96,037	3,441,823	97,078	3,807,880	91,353	3,597,304	59,131	2,641,951	19
20	酒類及其他飲料		—	2,375,952	—	2,391,160	—	2,659,908	—	2,664,939	—	3,353,073	20
21	紙卷及葉卷煙草		—	5,664,185	—	5,528,487	—	8,057,151	—	12,525,691	—	13,146,100	21
22	其他煙草		—	3,800,400	—	6,136,535	—	5,299,327	—	4,410,179	—	4,515,302	22
23	卷煙草製造材料		—	517,834	—	593,192	—	647,834	—	1,087,088	—	1,163,835	23
24	家具		—	1,350,071	—	1,420,042	—	1,473,307	—	1,292,278	—	1,312,558	24
25	藥品及藥材		—	5,478,234	—	5,851,351	—	6,171,948	—	7,019,272	—	7,164,594	25
26	染料及塗料		—	2,562,783	—	3,033,124	—	2,686,878	—	3,508,630	—	3,041,921	26
27	石油	米哩	16,981,505	4,574,628	18,485,409	5,457,546	22,633,122	5,698,870	29,064,266	7,159,506	18,342,321	6,080,745	27
28	機械油	〃	2,181,822	952,917	3,085,333	1,338,086	2,971,025	1,157,488	3,235,046	1,400,197	3,163,350	1,395,768	28
29	其他油		—	2,109,929	—	1,544,956	—	2,426,866	—	2,887,446	—	3,172,607	29
30	蠟	擔	15,279	209,149	16,817	214,355	6,977	99,447	16,319	290,034	6,958	122,527	30
31	蠟石燭製造材料		—	1,171,557	—	672,466	—	933,536	—	826,749	—	586,738	31
32	鹼寸		—	820,283	—	979,036	—	1,106,955	—	1,274,730	—	1,383,645	32
33	燐寸製造材料	グロス	189,410	63,073	337,857	102,677	310,731	106,508	281,999	113,117	364,807	137,604	33
34	燐寸製造材料		—	236,893	—	221,814	—	215,465	—	202,697	—	212,320	34
35	石炭及コークス	英噸	32,319	264,933	35,904	305,439	42,432	338,881	56,236	452,970	71,079	522,739	35
36	鐵及鋼	擔	2,239,953	9,615,321	2,074,068	10,189,200	2,697,491	12,314,764	2,957,078	14,199,818	1,989,426	12,774,564	36
37	其他金屬物	〃	282,266	3,033,802	260,115	3,598,688	233,596	2,451,372	272,836	2,234,131	684,894	3,849,606	37
38	金具類		—	2,945,559	—	2,939,220	—	3,220,743	—	3,429,816	—	2,830,001	38
39	機械器具		—	6,961,352	—	8,440,550	—	8,981,313	—	10,926,580	—	14,873,191	39
40	車輛		—	4,924,701	—	5,985,200	—	6,467,463	—	8,866,064	—	5,396,190	40
41	セメント	擔	667,878	682,100	468,193	471,076	255,316	277,832	522,829	529,777	287,912	328,991	41
42	木材及竹等		—	2,173,265	—	2,486,655	—	3,936,758	—	4,382,585	—	3,140,019	42
43	建築材料		—	729,281	—	762,135	—	1,031,248	—	2,605,170	—	2,286,055	43
44	鐵道材料		—	499,907	—	999,866	—	836,886	—	1,475,347	—	1,994,820	44
45	電氣材料		—	2,602,306	—	3,187,228	—	3,240,460	—	3,893,612	—	4,341,388	45
46	美術及化粧用品		—	1,637,519	—	1,663,750	—	2,088,291	—	1,837,162	—	1,972,827	46
47	皮革毛骨角牙類		—	6,826,886	—	6,547,588	—	6,545,006	—	6,347,704	—	3,538,381	47
48	紙		—	6,662,724	—	6,200,496	—	6,100,167	—	7,026,370	—	7,304,061	48
49	硝子板及硝子器		—	796,606	—	622,059	—	754,472	—	835,420	—	786,805	49
50	陶磁器及土器		—	1,738,925	—	1,936,260	—	2,208,303	—	2,717,713	—	1,481,468	50
51	麻袋	枚	38,368,382	11,502,937	37,813,180	11,448,884	42,861,840	12,240,958	46,321,327	12,827,491	27,660,140	8,456,146	51
52	其他雜品		—	10,174,729	—	11,852,314	—	17,991,555	—	14,525,736	—	17,013,713	52
53	小包郵便物		—	449,828	—	428,409	—	269,797	—	153,700	—	107,043	53
	合計		—	248,134,219	—	238,052,185	—	266,381,829	—	308,141,617	—	284,774,666	

(11)

(2) 哈爾濱稅關管內

(1) 輸移出

(價額單位海關兩)

番號	品名	數量單位	昭和元年		昭和二年		昭和三年		昭和四年		昭和五年		番號
			數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	
1	豆類 大豆	擔	9,539,384	29,286,295	11,462,099	34,616,207	14,738,364	46,132,228	8,021,994	24,949,063	10,952,797	29,682,382	1
2	他豆 黍	〃	27,355	66,301	11,702	29,410	68,552	231,465	144,941	467,913	117,604	366,003	2
3	蜀	〃	232,390	381,212	149,286	256,771	71,490	122,962	11,529	19,947	1,237	2,177	3
4	玉高粱	〃	1,519,507	2,309,650	1,101,406	1,718,194	321,414	517,476	54,813	88,566	134,962	236,183	4
5	粟	〃	500,131	1,305,379	493,805	1,446,848	518,580	1,555,740	219,115	643,333	89,043	253,772	5
6	小麥	〃	6,824	31,389	366,356	1,670,605	921,138	3,712,185	266,258	1,067,594	12,983	51,283	6
7	其他穀物	〃	95,750	243,250	95,160	236,164	167,021	420,660	141,794	331,704	34,682	94,446	7
8	胡麻子	〃	21,272	186,768	4,236	39,395	712	7,191	500	5,200	327	3,362	8
9	瓜子	〃	63	789	22	317	133	1,616	24	357	115	1,438	9
10	麻子	〃	138,100	365,965	164,180	451,181	113,062	374,222	115,168	287,920	269,321	754,099	10
11	蘇子	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11
12	其他種子	〃	1,106	7,513	710	6,657	1,175	12,490	308	3,673	577	4,739	12
13	菜實	〃	7,827	16,672	574	9,840	1,463	12,604	417	2,078	379	4,265	13
14	粉	〃	710	8,197	744	13,877	989	13,742	96	1,949	471	7,921	14
15	麥	〃	51,874	449,865	60,812	459,208	75,930	536,854	26,223	165,912	97,545	665,097	15
16	鷄	〃	85,501	118,862	228,271	330,992	330,659	477,507	180,039	217,850	119,916	169,082	16
17	鷄卵	千箇	354	5,205	100	1,924	73	1,652	20	439	97	1,787	17
18	水產物	擔	1,449	22,124	1,724	29,715	1,055	20,268	638	9,561	982	18,514	18
19	支那酒	〃	2,495	28,193	2,953	33,700	1,835	20,075	1,378	14,255	3,430	36,015	19
20	煙草		—	219,235	—	138,318	—	240,111	—	29,585	—	109,920	20
21	鹽	擔	3,458	16,438	2,714	17,721	10,664	72,515	1,146	9,378	10,524	86,297	21
22	其他飲食料品	〃	—	324,336	—	237,997	—	134,943	—	59,396	—	117,174	22
23	豆粕	〃	6,558,929	14,429,644	7,535,109	16,577,239	7,103,036	16,052,871	4,791,461	10,780,771	7,890,907	16,570,904	23
24	豆油	〃	636,500	6,530,489	598,407	7,103,117	236,742	2,606,529	42,728	443,570	154,342	1,551,137	24
25	其他油脂	〃	212	3,528	247	3,918	290	4,946	465	8,392	462	7,011	25
26	亭麻花	〃	29	572	26	513	13	245	4	84	15	333	26
27	棉滿柞屑	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	1	33	27
28	蠶絲	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28
29	絹絲	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	29
30	絹製品	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30
31	毛革	〃	16,693	39,455	—	44,950	—	20,800	—	3,645	—	6,384	31
32	毛織物	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32
33	羊毛	〃	—	656,912	22,987	813,166	23,849	594,400	1,246	29,961	3,882	95,987	33
34	其他毛革	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	34
35	皮	〃	—	1,980,805	—	2,596,194	—	2,702,763	—	406,099	—	939,867	35
36	牙骨	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36
37	角	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	37
38	獸骨	〃	4,283	170,868	121	2,302	51	1,597	—	—	33	422	38
39	家禽	〃	318	101	200	90	—	—	—	—	—	—	39
40	家獸脂	〃	1,345	19,086	1,595	22,636	1,047	15,522	—	—	—	—	40
41	竹材及等	擔	—	145,853	—	109,823	—	122,169	—	137,119	—	94,581	41
42	木材及炭	噸	2,461	984	—	—	243	110	—	—	347	174	42
43	石炭及コークス	英噸	324	4,183	158	2,294	218	3,297	45	656	222	3,144	43
44	其他鑛產品	擔	—	79	—	559	—	139	—	74	—	260	44
45	藥品及藥材	〃	—	250,098	—	110,612	—	17,010	—	29,441	—	33,167	45
46	染料及塗料	〃	—	630	—	2,509	—	1,702	—	1,996	—	701	46
47	人蔘	斤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	47
48	鐵及同製品	擔	1,935	22,034	2,079	16,756	—	4,083	502	2,905	—	17,838	48
49	其他金屬及同製品	〃	—	8,798	—	19,492	—	34,503	—	8,075	—	17,735	49
50	其他雜品	〃	—	1,009,315	—	1,229,226	—	1,216,434	—	220,122	—	764,457	50
51	小包郵便物		—	31,359	—	24,444	—	191,418	—	10,999	—	23,904	51
	輸移出計		—	**60,698,431**	—	**70,424,881**	—	**78,209,044**	—	**40,459,582**	—	**52,793,995**	
52	再輸移出 那支品		—	354,209	—	170,532	—	166,315	—	58,173	—	136,476	52
	再輸移出 外國品		—	4,444,602	—	3,247,378	—	1,944,041	—	1,350,089	—	842,972	
	再輸移出計		—	**4,798,811**	—	**3,417,910**	—	**2,110,356**	—	**1,408,262**	—	**979,448**	
	合計		—	**65,497,242**	—	**73,842,791**	—	**80,319,400**	—	**41,867,844**	—	**53,773,443**	

(12)

入移輸（口）

（價額單位海關兩）

番號	品名	數量單位	昭和元年		昭和二年		昭和三年		昭和四年		昭和五年		番號
			數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	
1	綿織物		—	1,743,370	—	2,231,573	—	2,899,614	—	1,718,162	—	1,693,910	1
2	毛及毛綿交織物		—	52,476	—	80,861	—	126,913	—	25,884	—	29,130	2
3	絹及絹綿交織物		—	1,416	—	2,999	—	3,053	—	7,402	—	—	3
4	其他雜織物		—	351,106	—	76,741	—	75,814	—	109,552	—	133,607	4
5	綿縫絲		—	14,413	—	15,445	—	254,227	—	43,680	—	45,061	5
6	綿織絲	擔	111	8,572	63	3,711	54	3,741	56	4,642	49	3,976	6
7	棉花	〃	—	—	202	5,769	98	3,430	—	—	—	—	7
8	繭絲及絹製品		—	—	—	1,354	—	2,885	—	7,985	—	31,276	8
9	其他絲綫及材料		—	73,288	—	44,979	—	124,521	—	19,398	—	14,625	9
10	衣服及附屬品		—	105,854	—	82,675	—	611,095	—	305,905	—	293,341	10
11	米	擔	142	1,281	—	—	105	825	608	5,036	—	—	11
12	其他穀物及種子	〃	62,716	227,773	101,324	383,546	83,212	280,812	87,608	288,185	50,185	160,058	12
13	麥粉	〃	10	76	9,185	69,806	2,700	18,090	—	—	375	2,513	13
14	蔬菜	〃	17,038	405,262	15,378	296,730	13,230	167,628	2,060	28,064	15,232	456,322	14
15	果實	〃	18,546	187,192	37,963	400,290	30,110	372,620	31,265	447,530	15,524	222,025	15
16	砂糖	〃	144,947	1,537,170	342,349	3,353,394	268,589	2,519,018	150,159	1,411,014	79,182	645,702	16
17	水產物	〃	45,344	567,130	47,601	622,948	50,422	812,471	28,536	368,167	24,746	531,488	17
18	其他食料品		—	196,194	—	166,896	—	256,105	—	477,823	—	461,567	18
19	茶	〃	17,503	258,337	9,392	174,841	7,336	127,603	733	12,972	—	—	19
20	酒類及其他飲料		—	14,822	—	28,713	—	112,569	—	44,482	—	43,862	20
21	紙及葉卷		—	20,268	—	50,183	—	28,519	—	46,454	—	92,468	21
22	其他煙草		—	45,822	—	16,442	—	10,396	—	3,803	—	4,089	22
23	卷煙草製造材料		—	1,217	—	175	—	1,786	—	187	—	441	23
24	家具		—	46,988	—	27,545	—	70,140	—	107,062	—	22,720	24
25	藥品及藥材		—	341,406	—	185,976	—	281,113	—	262,350	—	172,421	25
26	染料及塗料		—	18,113	—	65,900	—	230,610	—	144,974	—	54,470	26
27	石油	米哩	1,197,140	420,044	1,810,504	634,411	2,574,040	889,237	1,149,462	406,101	2,617,412	935,244	27
28	機械油	〃	84,208	33,683	251,741	113,284	537,158	269,121	84,843	42,763	588,561	317,823	28
29	其他油脂		—	200,356	—	247,575	—	300,736	—	254,079	—	225,916	29
30	蠟燭	擔	309	6,682	—	—	572	14,347	361	8,570	25	438	30
31	蠟燭製造材料		—	1,073	—	735	—	15,235	—	180	—	47	31
32	石鹼		—	18,435	—	15,709	—	16,585	—	25,453	—	37,015	32
33	燐寸	グロス	—	—	—	—	8,086	3,463	41,424	18,258	36,636	16,486	33
34	燐寸製造材料		—	—	—	—	—	123	—	659	—	468	34
35	石炭及コークス	英噸	138,925	1,539,422	154,298	1,811,174	191,632	2,483,786	106,435	1,204,442	344,169	4,138,902	35
36	鐵及鋼	擔	128,971	581,307	302,675	1,665,665	1,038,510	4,755,641	489,634	2,769,139	106,299	778,963	36
37	其他金屬	〃	83	3,209	761	18,396	9,780	419,018	4,481	169,759	574	17,508	37
38	金物具		—	268,638	—	169,757	—	388,500	—	302,077	—	150,159	38
39	機械器		—	58,016	—	500,688	—	1,439,219	—	879,362	—	937,479	39
40	機車輛類	〃	—	124,390	—	585,647	—	621,279	—	378,211	—	301,988	40
41	セメント		5,074	6,782	17,479	35,307	73,824	136,575	28,630	39,223	10,823	16,559	41
42	木材及竹等		—	258,932	—	318,313	—	576,519	—	118,424	—	616,538	42
43	建築材料		—	3,372	—	11,870	—	191,512	—	64,567	—	48,205	43
44	鐵道材料		—	2,926,390	—	773,336	—	500,078	—	262,575	—	583,777	44
45	電氣材料		—	198,840	—	274,847	—	417,911	—	343,211	—	241,757	45
46	美術及化粧用品		—	11,885	—	40,783	—	129,539	—	37,346	—	49,347	46
47	皮革毛骨角牙類		—	2,498,903	—	1,951,385	—	535,764	—	412,939	—	83,268	47
48	紙類		—	45,679	—	125,328	—	207,423	—	223,774	—	81,505	48
49	硝子材及硝子器		—	4,902	—	10,188	—	65,963	—	85,097	—	67,395	49
50	陶磁器及土器		—	5,790	—	12,880	—	54,377	—	20,173	—	32,044	50
51	麻袋及其他袋類	枚	5,820,255	2,246,468	5,623,000	2,209,545	7,274,365	3,199,492	3,381,020	1,479,952	3,608,200	1,511,294	51
52	其他雜品		—	406,403	—	889,674	—	749,499	—	360,982	—	308,714	52
53	小包郵便物		—	2,902,711	—	2,231,829	—	882,121	—	348,157	—	374,845	53
	合計		—	20,991,858	—	23,037,818	—	28,658,661	—	16,146,186	—	16,988,756	

(13)

四　列國ノ滿蒙投資額

（昭和五年度末現在）

I　各國投資額比較

國名	金額	百分率
	千円	%
日本	2,036,866	78.64
露國	465,015	17.96
英國	39,590	1.53
米國	26,400	1.02
佛國	21,086	0.81
瑞典	850	0.03
丁抹	157	0.01
計	2,589,964	100.00

註　1. 本表投資額ハ借款、法人及個人企業投資額ヲ骨子トシ之ニ多少ノ推定ヲ加ヘタル概數ニシテ日本ハ大連商工會議所調査、日本以外ハ滿鐵會社ノ調査ニ係ルモノトス。
2. 留、銀元ハ金圓ト同一價格トシ、磅ハ金十圓、弗ハ金二圓ノ割合ヲ以テ換算セルモノナリ。
3. 日本ノ投資ノ大部分ハ南滿ニシテ北滿ニ對シテハ僅ニ六千萬圓、外國投資額ノ一割ニモ充タズ。即チ次ノ如シ。（滿鐵調査月報昭和七年二月號）

	百萬円	%
露國人ノ投資額	590	85.26
日本人ノ投資額	60	8.67
其他外國人ノ投資額	42	6.07
計	692	100.00

日本ノ北滿投資額內譯下記ノ如シ。（昭和六年十二月哈爾濱商工會議所發表）

	千円
商業	4,000
工業	4,000
林業	7,000
不動產	20,000
金融	25,000
計	60,000

II　投下方面ヨリ見タル投資額

	日本	露國	英國	米國	佛國	瑞典 丁抹
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
運輸業	1,139,585	397,663	16,500	—	14,270	—
農林鑛業	111,325	19,500	—	—	250	—
工業	150,481	5,250	2,500	2,500	5,000	450
商業	113,557	19,500	10,870	10,700	60	607
金融	207,401	7,902	7,000	8,500	—	—
其他	314,517	15,200	2,720	4,700	1,500	150
計	2,036,866	465,015	39,590	26,400	21,086	1,007

註　佛國ノ鐵道投資ハ露國ニ對スル貸付ナルガ露國革命ニ依リ事實皆無ト同樣ナリ。

(14)

五　滿蒙ニ於ケル日本ノ投資額

投資總額　2,036,866,000圓

內譯	滿鐵會社	890,889,000	民間借款	9,421,000	個人企業	112,474,000
	政府借款	292,565,000	法人企業	490,441,000	關東廳關係	241,076,000

本調査ハ大連商工會議所ガ國際聯盟支那調査委員ノ來連ニ際シ其要求ニ依リ提示セルモノニシテ其詳細ハ次表ノ如シ。

I　投資者別ヨリ見タル投資額

(1) 滿鐵會社投資額

	千円	%
事業費	742,069	
有價證券	84,360	
貸付金	18,451	
產業助成金	10,570	
地方費補給金	35,439	
合計	890,889	43.74

(2) 借款ニ依ル投資額

鐵道	212,000	
鑛林業	58,694	
電氣業	1,200	
其他	20,671	
合計	292,565	14.36

(3) 個人借款ニ依ル投資額

奉天省	3,977	
吉林省	1,459	
蒙古	370	
關東州	3.615	
合計	9,421	0.46

(4) 法人企業ニ依ル投資額

(イ) 日本商法準據滿蒙本據會社

	千円	%
運輸業	18,562	
工業	71,427	
金融信託業	46,344	
商業	40,294	
電氣瓦斯業	35,571	
銀行業	20,588	
農鑛林業	22,078	
其他	11,983	
合計	266,847	

(ロ) 日本商法準據滿蒙外本據會社

商業	21,270	
運輸業	11,405	
工業	16,966	
銀行業	86,117	
金融業	51,290	
保險業	325	
合計	187,373	

(ハ) 非日本商法準據會社

鑛林業	30,553	
運輸業	5,096	
電氣業	557	
其他	15	
合計	36,221	
總計	490,441	24.08

(5) 個人企業ニ依ル投資額

	千円	%
商業	51,993	
工業	24,760	
運輸業	1,633	
金融業	3,062	
其他	31,026	
合計	112,474	5.52

(6) 關東廳投資額

官有財產	160,134	
政府補充金	77,152	
公債	3.790	
合計	241.076	11.84
總額	2,036,866	100.00

(說　明)

1. 滿鐵會社ノ投資額ハ1930年末現在。
2. 借款ニ依ル投資額ハ1930年末現在ニシテ其內容次ノ如シ。
   鐵道關係借款
   吉敦、四郭、吉長、洮昂ノ各鐵道借款、四郭鐵道公債、吉會滿蒙四鐵道豫備契約前渡金、吉敦鐵道假拂金、洮昂、四洮、奉海、吉敦、北寧、齊克ノ各鐵道ノ未收金ニシテ元利合計212,000,000圓。
   鑛林業關係借款
   日本政府ノ吉林、黑龍江兩省鑛林借款並ニ同利拂借款其他農鑛林借款10口ニシテ58,694,000圓。
   其他
   中華滙業銀行關係各借款、利拂借款中滿蒙ニ關係スル電信借款20,671,000圓。
3. 個人借款ニ依ル投資額ハ1930年末現在ニシテ個人又ハ會社ニシテ支那會社、個人、蒙古ノ要人等ニ貸付タルモノナリ。詳細不明ナルモ玆ニ掲記セラレタルハ王子製紙會社、大倉組、安川敬一郎、莞井泰治、中日實業會社、東拓等ノ借款ニ係ルモノナリ。
4. 法人企業ニ依ル投資額ハ1927年末現在。
   (イ) 日本商法準據滿蒙本據會社
   日本商法ニ準據シテ滿蒙ニ本據ヲ有スル會社ノ投資額ニシテ其中滿鐵關係ヲ除キタル會社拂込資本金及出資金、積立金並ニ社債ノ總計ナリ。會社數ハ株式會社137、合資會社671、合名會社94、計1,202社。
   (ロ) 日本商法準據滿蒙外本據會社
   滿蒙ニ支店、出張所又ハ工場ヲ設置セルモノニシテ、株式會社49、合資會社2、合名會社7、合計58社。
   (ハ) 非日本商法準據會社
   支那法規及日本條約又ハ協約、契約ニ依リ設置セラレタル法人企業ニシテ、此種事業ハ支那法規ノ定ムル所ニ從ヒ表面ハ原則的ニ折半出資ヲ例トスルモ、實際ハ少數ノ例外ヲ除キ全ク日本側出資ニ係ルヲ以テ本表ニハ其資本總額ヲ以テ日本側投資ト看做セリ。會社數23社。
5. 個人企業ニ依ル投資額ハ1927年末現在。
6. 關東廳投資額ハ土地建物、船舶ノ如キ官有財產、公共施設ニ投資セル政府補充金及公債ナリ。

II　投下方面ヨリ見タル投資額

	金額	百分率
	千円	%
鐵道(運輸業ヲ含ム)	1,139,585	55.9
農林業	111,325	5.5
電氣瓦斯業	37,328	1.8
工業	113,153	5.6
金融信託業	100,696	4.9
商業	113,557	5.6
銀行業	106,705	5.2
其他	73,441	3.6
關東廳關係	241,076	11.9
總計	2,036,866	100.0

尙ホ參考ノ爲從來各種調査機關ニ依リ最近發表セラレタル投資額ヲ比較表示スレバ次ノ如シ。(大連商工會議所、大連商工月報昭和七年七月號揭載)

	借款投資	法人企業投資	個人企業投資	關東廳關係	文化開發投資	合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
資源局	241,484	1,135,354	94,991	—	—	1,471,380
滿蒙要覽	238,063	1,135,354	94,991	—	—	1,468,406
日華實業協會	238,063	1,135,354	94,991	—	(320,000)	1,468,406 (1,788,406)
滿鐵會社	119,013	1,473,597	94,991	(460,000)	—	1,687,601 (2,147,601)
大連商工會議所	301,986	1,381,330	112,474	(241,076)	—	1,795,790 (2,036,866)

註

1. 投資額總計ニ於テ各々異レル主ナル原因ハ調査年月ノ相違ト種目選定ノ見解ノ相違ニ因ルモノトス。
2. 關東廳關係ニ於テ大連商工會議所ハ總額ヨリ官有財産、政府補充金、公債 計241,076千圓ト關東軍及軍隊駐屯費180,000千圓及警察費50,000千圓ヲ分割計上セルニ對シ滿鐵ハ之等ヲ一括シテ460,000千圓ト推算セリ。

591
17

非賣品
以印刷代謄寫